

科目名	総合日本語 I A					学期	前期			
担当教員	山崎 真理子・鍛冶田 芳衣・大田 千津・永山 香織	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	16	
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠A1～A2.1レベルの日本語の運用能力を構築する。									
授業内容	1段階目として日本語の構造を体系的に学び、能力Can-Do(語彙能力、文法能力、音声能力、正書法の能力)を達成する。2段階目としてその構造が現実世界でどのように機能するのか、どのような場面で運用するのかを学び、具体的な活動Can-Do(受容活動、相互行為活動、産出活動)を達成する。									
包括的到達目標	自分自身、学校、アルバイト、居住地域といった直接的関係がある日常的で具体的な話題に関して、相手がはっきりとゆっくり話して、時には言い換えなどの助け船を出してくれるという条件が整っていれば、ルーチンワークにおける直接的な情報交換に応じることができる。自らの背景や身の回りの状況、将来の計画についても、単純な語句や文を並べて、やや能動的に説明することができる。									
使用テキスト	みんなの日本語初級 I 本冊、文法解説書、文型練習帳、トピック25									
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	物を指し示したり、物の持ち主が言える。場所を示したり、尋ねたりできる。所属(国・会社・大学など)が言える。(能)					○	○	○		
	初対面の人と簡単なあいさつや自己紹介ができる。買いたい物を売っている場所を尋ね、簡単な買い物ができる。(活)								○	○
2	時刻、曜日、簡単な日常の行動、目的地と、そこへ行く交通手段が言える。人を誘う表現ができる。(能)					○	○	○		
	営業時間や休業日が聞ける。電車やバスなどを利用して目的地へ行ける。人を誘って、予定の時間、場所が伝えられる。(活)								○	○
3	物の名前や表現が尋ねられる。物の授受についての事実が伝えられる。身の回りの物事の様子、感想が簡単に言える。(能)					○	○	○		
	訪問先での挨拶ができる。物を褒め、会話の話題にできる。日本の生活や仕事などについて話せる。(活)								○	○
4	好き嫌い、上手下手、わかる、ある(所有)の表現が使える。理由が簡単に説明できる。(能)					○	○	○		
	理由を述べて、誘いを断ることができる。(活)								○	○
5	人や物の存在・所在、数量、人数、時間、期間、過去の出来事や経験について簡単な感想や印象、簡単な比較が言える。(能)					○	○	○		
	行きたい所の場所、店で欲しい物のある場所が尋ねられる。手紙や荷物を送ることができる。経験について簡単な感想が言える。(活)								○	○
6	欲しい物、したいこと、移動の目的、簡単な指示、依頼、勧め、申し出、今何をしているか言える。(能)					○	○	○		
	店で食事の簡単な注文ができる。食事の支払いが別々にできる。避難訓練の指示を聞き、適切な行動がとれる。(活)								○	○
7	禁止事項がわかる。許可求め、家族や仕事などの身近な話題、日常行動の順を追った説明、人や物・場所などの簡単な描写説明ができる。(能)					○	○	○		
	家族構成や、家族の仕事などについて簡単に話せる。施設の利用の仕方について簡単な手順が理解できる。(活)								○	○
8	規則や禁止事項の理解、しなければならないこと、する必要のないことの確認、できることや趣味についての話、時間的な前後関係が言える。(能)					○	○	○		
	病状を簡単に説明できる。医者からの指示が理解できる。趣味や好きなことを話題に簡単な会話ができる。(活)								○	○
9	経験の有無、物事の変化が言える。文の丁寧体、普通体の違いがわかり、親しい人と簡単な普通体の会話ができる。(能)					○	○	○		
	パーティーの会話の中で、経験について話す。親しい相手の普通体の発言が理解できる。また、その人と簡単な会話ができる。(活)								○	○
10	簡単な意見・感想・予想、伝聞、確認、同意求めができる。連体修飾を使って、人や物のより詳しい描写、説明ができる。(能)					○	○	○		
	日常生活の場面で身近な話題について簡単な意見や感想が言える。不動産屋で住宅について欲しい情報が得られる。(活)								○	○
11	どんなときにどんな行動をするか、あるいはしたかが説明できる。簡単な機械の使い方や道順などが聞いてわかる。(能)					○	○	○		
	簡単な道案内、公共施設での簡単な手続きのやり方が理解できる。(活)								○	○
12	物や恩恵の授受、ある条件下での判断、決定などが言える。(能)					○	○	○		
	日常的な行為のやりとりについて、感謝の気持ちを込めて、簡単に表現できる。お世話になった人に感謝の気持ちが伝えられる。(活)								○	○
13	理由や事情の説明、可能な表現、同時に行われる継続的な動作、日常の習慣的な行為、複数の理由を並べて述べるができる。(能)					○	○	○		
	転居先での日常生活に必要な情報がもらえる。相手の能力を褒めて、会話を弾ませる。頼まれたことに対し、理由を述べて断れる。(活)								○	○
14	事物の状態の描写、行為の完了について述べられる。不都合な事態について残念、遺憾に思う気持ちが表現できる。(能)					○	○	○		
	忘れ物などの困った状況に対応できる。(活)								○	○
15	事物の状態、準備など、将来のために前もってしておくこと、自分の意思や計画していること、予定が説明できる。(能)					○	○	○		
	非常袋について理解する。将来の計画について話せる。(活)								○	○
16	指示、命令を理解することができる。忠告や助言、推量、伝言が言える。(能)					○	○	○		
	健康の話題から近況を話す。わからない漢字の読み方や語句の意味を質問することができる。(活)								○	○
17	動作の基準や規範、二つの動作の前後関係、ある動作をどのような状態で行うかの説明、仮定条件、ある条件下での判断、助言求めができる。(能)					○	○	○		
	やり方や順番の指示が聞いてわかる。旅行についての情報を得ることができる。(活)								○	○
18	到達目標や努力目標、人の能力及び物事の変化を述べるができる。(能)					○	○	○		
	日ごろ心がけていることが話せる。(活)								○	○
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 筆記試験 40 %	数課毎の文法・読解・聴解テスト								
	2. パフォーマンス 50 %	数課毎のパフォーマンステスト								
	3. 自己評価 10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等										

科目名	総合日本語 I B					学期	後 期			
担当教員	山崎 真理子・鍛冶田 芳衣大田 千津・永山 香織	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	16	
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠A2.2～B1.1レベルの日本語の運用能力を構築する。									
授業内容	前半は1段階目として日本語の構造を体系的に学び、能力Can-Do(語彙能力、文法能力、音声能力、正書法の能力)を達成する。2段階目としてその構造が現実世界でどのように機能するのか、どのような場面で運用するのかを学び、具体的な活動Can-Do(受容活動、相互行為活動、産出活動)を達成する。後半はクラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。									
包括的到達目標	仕事や学校での身近な話題について、共通語による情報の主要点を理解できる。関心のあるテーマに対し、簡単な接続詞を用いて論理的に結びついたテキストを構成し、理由を添えて発信できる。相手が協力的であれば、質問や補足説明をして会話を維持できる。									
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ本冊、文法解説書、文型練習帳、トピック25、タスクベースで学ぶ日本語中級1									
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	迷惑に感じた体験、行為について感想、評価、し忘れたこと、情報を知っているかどうかの確認が言える。伝えたいことを強調して伝えられる。(能) 歴史的な建造物についての説明が聞いてわかる。社交会話ができる。(活)					○	○	○		
2	ある事柄が原因で、その結果としてある感情や事態が生じたことを説明できる。理由、弁解、事情の説明ができる。(能) 人に迷惑をかけたとき、丁寧に理由を説明して謝ることができる。(活)					○	○	○		
3	疑問に思っていることについての感想、判断またはそれに基づく行動が表明できる。やってみようと思うことが言える。(能) 心配ごとの相談ができる。(活)					○	○	○		
4	上下や親疎の関係をわきまえた授受表現、丁寧な依頼、目的の表明、物の用途、評価、何かをするのに必要な時間、経費が言える。(能) 丁寧な表現を使って、恩恵を受けた経験を発表することができる。お金の使い方や貯金について雑談ができる。(活)					○	○	○		
5	物事の変化の見通しや状態・性質を推察した表現、過度な状態、物を使用する際の難易度の評価、自分の選択、決定を伝えることができる。(能) 外見、外観から受けた印象や感想が言える。美容院に行つて、希望の髪型が伝えられる。(活)					○	○	○		
6	ある事態を想定した対処のし方、期待外れの結果に対する話し手の意外感や不満の気持ちを表すことができる。(能) 場面、状況に応じた指示や対応ができる。また、予想外の結果について、残念・不満などの気持ちが表現できる。(活)					○	○	○		
7	動作の段階、事態や状況説明、動作が終了してからあまり時間がたっていないという気持ち、確信、情報の伝聞、状況判断が述べられる。(能) サービスセンターに修理を依頼することができる。伝聞や推測の表現を用いて、おしゃべりに参加できる。(活)					○	○	○		
8	行為の強制や許可・容認、丁寧な許可求めができる。上下親疎の関係に基づく表現の違いを理解し、適切に使える。(能) 丁寧な表現を用いて、許可を求めることができる。敬語を用いて、電話をかけた後、伝言を頼んだりできる。(活)					○	○	○		
9	上下親疎の関係に基づく表現全体の体系を理解し、謙譲語を適切に使うことができる。(能) 改まった場面で、敬語を用いて、適切な受け答えができる。(活)					○	○	○		
10	習い事の経験について、インタビューを聞いて理解したり、知っていることを話したりできる。(活) 習い事の経験について、自分の気持ちや考えを理由も織り交ぜながら、時系列で語るすることができる。(活)						○		○	
11	日本語の表記(漢字・ひらがな・カタカナ)について、現在知っていることを話したり共有したりできる。(活) 日本語の表記の歴史や使い分けについて、事実に基づいて書かれた平易な説明文を読み、理解することができる。(活)									○
12	昔話の動画を見たり、知っていることについて話したりして、物語の流れを把握できる。(活) 「浦島太郎」などの昔話の流れを理解した上で、想像を膨らませて新しい結末を創作して書くことができる。(活)						○		○	
13	1課～3課のポストタスク(習い事の経験について発表、日本語の表記について調べたことを紹介、昔話の新しい結末を紹介・意見交換)からいずれかの関心のあるテーマに対する自分の気持ちや考えを、簡単な接続詞を用いて論理的に結びついたテキストで構成し、理由を添えて発信できる。(活)					○		○	○	○
14	旅行について知っていることを話したり、行き先などの情報を資料から探して読み取ったりできる。(活) グループ旅行の具体的な計画(どこで何をするか等)を立てるために、仲間と意見を出し合い、話し合うことができる。(活)					○			○	
15	国や地域の違いについて知っていることを話したり、インタビューを聞いて内容を理解したりできる。(活) 身近な国・地域と日本の習慣や制度等の違いについて、比較しながらまとまりのある文章を書くことができる。(活)						○		○	
16	音楽について知っていることを話したり、関連するブログ記事を読んで内容を理解したりできる。(活) ラジオなどのメディアで音楽の思い出について語られているのを聞き、その主要な点を理解することができる。(活)					○		○		
17	特定のテーマ(点字ブロック等)について知っていることを話したり、解説の動画を見たりして概要を理解できる。(活) 事実に基づいて書かれた説明文を読み、その主旨や内容のポイントを的確に理解することができる。(活)						○		○	
18	4課～7課のポストタスク(グループ旅行の計画について説明、母国と日本の制度や習慣の違いについて比較、音楽の思い出について話す、日本の発明について調べて発表)からいずれかの関心のあるテーマに対する自分の気持ちや考えを、簡単な接続詞を用いて論理的に結びついたテキストで構成し、理由を添えて発信できる。(活)					○		○	○	○
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 筆記試験 40 %	数課毎の文法・読解・聴解テスト								
	2. パフォーマンスⅡ 50 %	数課毎のパフォーマンステスト								
	3. 自己評価 10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等										

科目名	総合日本語ⅡA						学期	前期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	14
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠B1.1～B1.2レベルの日本語の運用能力を構築する。								
授業内容	クラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。情報を受け取るだけでなく、別の視点から考えたり、自らの思考に落とし								
包括的到達目標	学校生活や自身の専門分野、および関心のある社会的な話題において、明瞭な日本語による情報の要旨と重要な詳細を正確に理解できる。事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。また、公式な議論や問題解決を伴う場面において、適切な丁寧さを用いて自律的にやり取りを継続・深化させることができる。								
使用テキスト	タスクベースで学ぶ日本語中級2、読む聞く考える日本語トレーニング								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	発
1	「和語」「漢語」「外来語」について知っていることを話したり、説明文を読んで情報を収集したりできる。(活)	○			○
	「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
2	自分で調べた特定の言葉について、その由来や使い分けを適切に説明することができる。(活)				○
	「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
3	「ユニバーサルデザイン」について自分の考えを話し、クラスメートと共有できる。(活)				○
	「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
4	企業のユニバーサルデザインへの取り組みに関する動画を見て、その要点を正確に聞き取ることができる。(活)		○		
	「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
5	身近な公共施設について知っていることを話したり、関連する短い情報を読み取ったりできる。(活)	○			○
	「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
6	公共施設の特徴や歴史的背景に関するまとまりのある説明文を読み、その構成や内容を理解できる。(活)	○			
	「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
7	1課～3課のポストタスクからいずれかを深め、事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。		○	○	○
8	「変身願望」について自分の意見を述べ、関連するインタビューを聞いて大まかな内容を把握できる。(活)		○		○
	「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
9	自分の変身願望や自分を変えた経験について、まとまりのある文章で書くことができる。(活)			○	
	「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
10	防災について知っていることを話し、ウェブなどで必要な防災グッズの情報を検索して集めることができる。(活)	○			○
	「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
11	検索した情報を共有しながら、グループで話し合っって優先順位を考えた防災グッズのリストを作成できる。(活)				○
	「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
12	4、5課のポストタスクからいずれかを深め、事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。		○	○	○
13	地球環境について自分の考えを話し、提示された資料から重要な情報を読み取ってまとめることができる。(テ)	○			○
	「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
14	環境問題に関する自分の意見を、適切な構成と具体例を用いて論理的に書くことができる。(活)			○	
	「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
15	「メディア・リテラシー」について話し、講義の動画を視聴して重要なポイントを聞き取ることができる。(活)		○		○
	「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
16	視聴した講義の内容に基づいて、他の学習者と意見を交換し、理解を深めることができる。(活)				○
	「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○
17	6、7課のポストタスクからいずれかを深め、事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。		○	○	○
18	これまでに扱った「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の話題に関する文章や音声の中から、自分の興味のあるトピックを選び、より「思考のロジック」を深め、同じ興味で集まったグループに共有後、意見を統合し、クラスにも共有できる。		○	○	○

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験	40 %	それぞれのタスクやトピックに関連した言語知識、読解、聴解
	2. パフォーマンス	50 %	それぞれのタスクやトピックに関する発信活動
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
筆記試験は文字読解・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。			

課外授業実施予定・時事ニュース、レシア、ゲラ、ゲスト等	
-----------------------------	--

科目名	総合日本語ⅡB						学期	後 期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	14
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠B2.1～B2.2レベルの日本語の運用能力を構築する。								
授業内容	クラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。情報を受け取るだけでなく、別の視点から考えたり、自らの思考に落とし込んで深める。								
包括的到達目標	自身の専門分野や関心のある社会的な諸問題について、複雑な文脈を持つ情報の要旨と詳細を正確に把握し、批判的に理解できる。多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができ、学術的な議論や複雑な交渉の場においても、流暢かつ自然なやり取りで主体的に貢献できる。								
使用テキスト	タスクベースで学ぶ日本語中級3、読む聞く考える日本語トレーニング								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	動物と人間のかかわりについて、自分の経験や考えを話したり、新聞の投稿を読んで情報を得たりできる。(活) 「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
2	動物介在教育についてのインタビュー動画を視聴し、その内容について自分の意見をまとめた文章で書くことができる。(活) 「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)		○	○		
3	地域の活性化に関するニュース記事を読み、その要点を読み取ってクラスメートと話し合うことができる。(活) 「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
4	自分の町を活性化させるためのアイデアを調査し、その結果をまとめて発表することができる。(活) 「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
5	「大切なもの」に関する調査データなどの資料を読み取り、その情報を整理して他者に伝えることができる。(活) 「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
6	読み取った情報や調査結果をふまえ、自分自身の考えを論理的なレポートにまとめて書くことができる。(活) 「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
7	1課～3課のポストタスクからいずれかを深め、多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができる。		○	○	○	○
8	幸福度ランキングなどの複数の資料を読み比べ、必要な情報を抽出してグループで話し合うことができる。(活) 「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
9	資料から得た情報をもとに、幸福についての自分なりの考察を構成を立てて発表することができる。(活) 「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
10	社会的な「役割」に関するインタビューや会話を聞き、自分の経験や考えを織り交ぜて話すことができる。(活) 「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
11	役割の社会的機能について述べられた専門的な文章を読み、筆者の主旨や論理構成を的確に理解できる。(活) 「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
12	4、5課のポストタスクからいずれかを深め、多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができる。		○	○	○	○
13	食品ロスなどの環境問題について、自分の考えを話したり関連する記事を読んで知識を深めたりできる。(活) 「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
14	食品ロスに関する専門的な講義を聞いて要点を理解し、それに対する自分の意見をコメントシートに書くことができる。(活) 「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)		○	○		
15	自分の将来や社会貢献について考えを話し、他者の社会活動に関する発表を聞いて内容を把握できる。(活) 「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
16	ある学生の社会体験に関する話を聞き、それを踏まえて今後自分がどのように社会と関わりたいかについて話すことができる。(活) 「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
17	6、7課のポストタスクからいずれかを深め、多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができる。		○	○	○	○
18	これまでに扱った「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の話題に関する文章や音声の中から、自分の興味のあるトピックを選び、より「思考のロジック」を深め、同じ興味で集まったグループに共有後、意見を統合し、クラスにも共有できる。		○	○	○	○

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験	40 %	それぞれのタスクやトピックに関連した言語知識、読解、聴解
	2. パフォーマンス	50 %	それぞれのタスクやトピックに関する発信活動
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
	筆記試験は文字読解・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		

課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等

科目名	漢字 I A						学期	前期	
担当教員	鍛冶田 芳衣・土井 衿奈	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	生活で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。								
授業内容	第1段階として基本的な漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面での入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。								
包括的到達目標	日常生活や学校生活で頻繁に目にする基礎的な漢字(約150字)について、その意味と読みを理解できる。日本生活での具体的な欲求を満足させるために、デジタル機器を用いて必要な情報を入力できるとともに、自身の名前や住所などの定型的な情報を正確に手書きすることができる。								
使用テキスト	漢字たまご 初級								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	発
1	漢字の読み方は1つではないことを知る。(能)	○			
	漢字の基本的な書き方(筆運び)がわかる。(能)			○	
2	簡単な自己紹介を、漢字を使って書くことができる。(活)			○	
3	漢数字で書いてある1～10の数字や、百、千、万円の金額がわかり、読むことができる。(能)	○			
	スーパーの広告などから、肉の種別がわかり、読むことができる。(活)	○			○
4	イベントのお知らせを見て、行われる年月日、曜日、時間がわかり、読むことができる。(活)	○			○
	スケジュールを聞いて、曜日や時間のメモを取ることができる。(活)		○	○	
5	日本の住所を漢字で書くことができる。(活)			○	
	学生カード申請書などの書類の必要事項の欄がわかり、記入ができる。(活)			○	
6	ホームページ・フリーペーパー・情報誌などから、自分に必要な情報がわかり、読むことができる。(活)	○			○
	友達にメールで休みの日の出来事を書いて伝えることができる。(活)			○	
7	地域センターや図書館の案内を見て、目的の場所がわかる。(活)	○			○
	ツアーに参加したり、習い事をしたりする場合に、お知らせを見て、必要な情報(時刻、金額)や、お得な情報(割引、サービス)がわかる。(活)	○			○
8	漢字をパーツに分解できる。(能)	○			
	漢字のパーツには意味を表すもの(意符)があることがわかる。(能)	○			
9	メニューの中の食材に関する情報がわかり、読むことができる。(活)	○			○
	メニューから注文したい料理が選べ、読むことができる。(活)	○			○
10	書類などに書かれている家族構成がわかり、読むことができる。(活)	○			
	ブログや願書などに、家族について書くことができる。(活)			○	
11	書店の売り場案内から、目的の売り場がわかる。(活)	○			○
	本の表紙やポスター、ちらしなどから自分の知りたい情報がわかり、読むことができる。(活)	○			○
12	漢字のパーツには意味を表すもの(意符)、音を表すもの(音符)があることがわかる。(能)	○			
	ストーリーやイラストを使った覚え方に触れる。(能)	○			
13	地図や駅の構内図などを見て、目的地がわかる。(活)	○			○
	漢字を使ってメールで待ち合わせ場所の説明ができる。(活)			○	
14	イベントや公演のお知らせを見て、そのスケジュールがわかる。(活)	○			○
	合宿のスケジュール表に書いてある活動内容がわかり、読むことができる。また、簡単な内容について書くことができる。(活)			○	○
15	薬や日用品のパッケージに使われている簡単な漢字がわかる。(活)	○			○
	病院の情報が載っている情報誌を見て、行きたい病院が見つけれれる。(活)	○			○
16	旅行に関するウェブサイトを見て、季節の情報がわかる。(活)	○			○
	旅行会社のウェブサイトを見て、必要な情報のページがわかり、そこにある旅行プランの内容がわかる。(活)	○			
17	バス車内の注意書きがわかる。(活)	○			
	駅の券売機の表示がわかる。(活)	○			○
18	新聞などの天気欄からその日の天気がわかる。(活)	○			○
	駅などの電光掲示板を見て、運行状況などがわかる。(活)	○			

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験 50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト
	2. パフォーマンス 40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト
	3. 自己評価 10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		

課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等

科目名	漢字 I B					学期	後 期
担当教員	鍛治田 芳衣・土井 衿奈	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
単位数	2						
学習目的	生活で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。						
授業内容	第1段階として基本的な漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面での入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。						
包括的到達目標	日常生活や学校生活における身近な話題について、主要な漢字(既習分と合わせ300字程度)の意味と読みを理解できる。デジタル機器を用いて必要な情報を検索し、日常的な連絡や短い文章を入力できるとともに、各種の申請書類への記入や、身近な事柄についてのまとまりのある短い文章を正確に書くことができる。						
使用テキスト	漢字たまご 初中級、中級1						

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	発
1	アルバイト募集のポスター、情報誌、ウェブサイトにかかれた募集条件に関する漢字がわかり、自分の希望に合った仕事を選ぶことができる。(活) アルバイト募集に応募するため、履歴書に簡単な自己アピールや応募動機などを書くことができる。(活)	○		○	
2	デパートや量販店で、施設案内がわかる。(活) インターネットショッピングで希望の品物を買うために、サイト上の商品案内や説明を読むことができる。(活)	○			
3	インターネットや進学ガイドブックなどから、進路に関わる簡単な情報(進学・就職など)がわかる。(活) 冊子の中の必要なページを見つけて、説明会などのお知らせの内容がわかる。(活)	○			
4	役所や交流協会からの簡単なお知らせを読むことができる。(活) 携帯電話の料金プランがわかる。(活)	○			
5	電車の種類がわかり、乗る電車を選ぶことができる。(活) 駅で困ったとき、構内図を見て、どこへ行けばいいかわかる。(活)	○			
6	インターネットの旅行サイトや旅行パンフレットを見て、旅行行程や条件、宿泊施設の設備、利用者のコメントなどに関する簡単な情報がわかる。(活) 宿泊施設に質問のメールを書くことができる。(活)	○		○	
7	スーパーの売り場案内を見て、目的の場所がわかる。(活) 食品のパッケージに書いてある簡単な表示がわかる。(活)	○			
8	不動産屋の依頼書に必要な希望事項を書くことができる。(活) 不動産の物件情報がわかる。(活)			○	
9	仕事先で、貼紙の注意事項などの簡単な情報がわかる。(活) 日本人の名前を聞き、説明を受けて領収書に名前を書いたり、パソコンで漢字に変換したりできる。(活)	○		○	
10	レジャースポットを示す言葉がわかる。(活) 公園やキャンプ場の案内図を見て、どこに何があるかがわかり、行きたい場所を探ることができる。(活)	○			
11	地域の施設に関するお知らせ、ゴミの出し方のお知らせがわかる。(活) 路上で目にする標識や交通規制、工事などの案内板がわかる。(活)	○			
12	健康や美容のために使う器具の簡単な説明を読むことができる。(活) インターネットなどで健康になるための情報を読むことができる。(活)	○			
13	学内の掲示板や案内図などを見て、必要な情報(課題、教室、サークルのお知らせなど)がわかる。(活) シラバスを見て、履修の条件や内容がわかる。(活)	○			
14	日本の地方名や(学習した漢字の)都道府県名がわかる。(活) 日本の行事についての簡単な説明がわかる。(活)	○			
15	インターネットのニュースサイトのトピックスがわかる。(活) 新聞記事を読み、大まかな内容がわかる。(活)	○			
16	交流会のお知らせを読むことができる。(活) 学習した漢字が使われている日本人の名前を読んだり、書いたりすることができる。(活)	○		○	
17	新しく知り合った人とSNSでやり取りができる。(活) スマートフォンやテレビで天気予報を見て、天気についての情報がわかる。(活)	○		○	○
18	レストランやお弁当屋などの商品の説明や値段がわかる。(活) 食品のパッケージに書いてある表示や説明がわかる。(活)	○			

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験	50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト
	2. パフォーマンス	40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど

筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。

課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等	
--------------------------	--

科目名	漢字ⅡA						学期	前期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	進学で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。								
授業内容	第1段階として漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面で入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。								
包括的到達目標	公共の掲示やウェブサイト、身近なトピックに関する短い記事に含まれる漢字(約600字程度)を読み、その素材から自分に必要な情報や筆者の意図を正確に理解できる。自分の状況や意見について、文脈に合った漢字を適切に選択し、デジタル機器で入力したり、理由を伴うまとまりのある文章を正確に手書きしたりできる。								
使用テキスト	漢字たまご 中級1、中級2								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	発
1	インターネットで買い物をするとき、商品の情報や評価を見て比較、選択することができる。(活)	○			
	宅急便を送るために、漢字を使って伝票を書くことができる。(活)			○	
2	店内や施設内の注意書きやお知らせなどがわかる。(活)	○			
	乗り換え案内アプリを使って、自分の希望に合ったルートを探ることができる。(活)	○			
3	駅や電車内の表示や注意書きがわかる。(活)	○			
	留学生生活について、漢字を使って書くことができる。(活)			○	
4	銀行のATMの画面の指示や注意書きがわかる。(活)	○			
	書類(入学願書、奨学金申請書など)に必要な事項を書くことができる。(活)			○	
5	公共料金や携帯電話の請求書や明細、払い込み書などの内容がわかる。(活)	○			
	図書館の利用案内やお知らせの内容がわかる。(活)	○			
6	災害の緊急速報を見て、災害の状況や必要な行動がわかる。(活)	○			
	防災に関する情報(準備すること、お知らせなど)がわかる。(活)	○			
7	交通機関の運行状況がわかる。(活)	○			
	遅刻に関するメッセージのやり取りができる。(活)			○	○
8	地図を見て、目印となる建物などがわかり、目的地への行き方がわかる。(活)	○			
	観光マップを見て、その観光地の情報がわかる。(活)	○			
9	ガイドブックに書かれているその国、地域の気候や特徴について読むことができる。(活)	○			
	自分の出身地についての基本的な情報をポスターに漢字を使って書くことができる。(活)			○	
10	お知らせなどから、ボランティア活動の内容がわかる。(活)	○			
	お世話になった人に就職、進学、結婚、引っ越しなどの出来事をメッセージや手紙などで報告することができる。(活)			○	
11	折り紙の説明を読んで、折り方がわかる。(活)	○			
	メニューを見て、どんな料理かがわかる。(活)	○			
12	お祝いの気持ちを書いて伝えることができる。(活)			○	
	SNSで友達の投稿を読んでコメントすることができる。(活)			○	
13	漫画を読んで登場人物の心情などがわかる。(活)	○			
	歌のタイトルや歌詞を読むことができる。(活)	○			
14	記号のような漢字がわかり、その漢字から店や学校のお知らせ、表示の内容がわかる。(活)	○			
	形声文字の音符から読み方を類推することができる。(方)	○			
15	助数詞を表す漢字がわかり、それが何の数を表す情報なのかわかる。(能)	○			
	学習した漢字が使われている四字熟語、慣用句、ことわざを読み、意味がわかる。(能)	○			
16	SNS上にある観光地の情報がわかる。(活)	○			
	宿泊施設の情報がわかり、希望に合ったところを選ぶことができる。(活)	○			
17	バスや電車の座席を予約するインターネットサイトの情報がわかる。(活)	○			
	SNSに自分の旅行の様子や感想を漢字を使って書くことができる。(活)			○	
18	食品名や調味料の種類を理解することができる。(活)	○			
	ショッピングセンターの館内案内や店内表示を理解することができる。(活)	○			

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験	50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト
	2. パフォーマンス	40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
	筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		

課外授業実施
予定・時事
ニュース、レ
アリア、ゲ
スト等

科目名	漢字ⅡB						学期	後 期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2			
学習目的	進学で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。											
授業内容	第1段階として漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面での入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。											
包括的到達目標	進学を希望する専門分野や社会的な諸問題など、抽象的かつ複雑な話題のテキストに含まれる漢字(計1000字程度)を読み、そのテキストから主要な内容を独力で正確に理解できる。また、自らの進路や興味のある分野について、漢字を適切に用いて論理的かつ詳細な文章を作成・入力できる。											
使用テキスト	漢字たまご 中級2											
技能												
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発	
1	不動産屋の物件情報を見て、部屋の詳しい情報を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ごみの捨て方の案内を読んで、捨て方や注意事項を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
2	薬のパッケージの表示や説明書の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	問診表を読んで、回答を記入することができる。(活)						<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
3	健康診断の結果を見て、自分の健康状態を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ドラッグストアにある商品の種目表示や説明を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
4	ゲームの紹介文を読んで、どのようなゲームかを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	化粧品や医薬品の広告を見て、どのような商品かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
5	展示会や公演のお知らせを見て、内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	映画や小説など、物語の簡単な説明を読んで、どのような話かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
6	異文化コミュニケーションについて書かれた簡単な文を読んで、内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	異文化に関する投書やSNSのコメントの内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
7	ビジネスコミュニケーションの本の目次から、自分の知りたい表現を選ぶことができる。(活)						<input type="radio"/>					
	電車やバスの車内で見る表示や注意書きを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
8	ニュースの見出しや簡単な記事を読んで、どのような事故かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ニュースの見出しや簡単な記事を読んで、どのような事件かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
9	政治や国際に関するニュース番組のテロップや記事の見出しを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	文書作成アプリの基本的な操作の説明を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
10	進学情報の検索サイトや説明会のお知らせを見て、どのような分野の学校があるかを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	専門学校や大学などの募集要項の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
11	試験問題の指示文によく出る漢字を理解し、問題の指示を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	授業のカリキュラムやシラバスを見て、授業の形態や内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
12	就活ガイドや就活サイトの内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	就職セミナーの資料にある業界名や会社名を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
13	求人サイトで希望条件を指定して会社を検索することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ビジネスメールの件名や本文の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
14	環境に配慮されている商品の説明を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
	環境やエネルギーに関するニュースの見出しや記事の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
15	絶滅危惧種の動物に関する記事を読み、原因・現状・対策などの概要を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	環境に関するイベントや活動の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
16	科学に関する簡単なニュースやイベントの情報を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	科学に関する記事を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
17	水辺にすむ生物の説明や紹介の文を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
	話題の家電や機器などの紹介文を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
18	アンケート調査の結果(賛否や傾向など)を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	多文化共生に関する記事を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
評価項目/割合		評価内容										
評価基準	1. 筆記試験	50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト									
	2. パフォーマンス	40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト									
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。												
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等												

科目名	言語知識 I A						学期	後 期			
担当教員	折田真一・川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。										
授業内容	場面別の単語帳から幅広く語彙を学び、ポスター/メール/エッセイ/会話文/新聞記事/実用書/スピーチ/論文など様々なタイプの文章から、文型を学ぶ。										
包括的到達目標	留学生活や教室内で頻りに用いられる基本的な語彙・漢字およびN4レベルの文法形式を習得し、ポスター、メール、平易なエッセイなどの多様な形式のテキストにおいて、身近な話題に関する情報の要旨や具体的な指示を正確に理解できる。また、得た知識を応用して、自身の身の回りの状況について、つながりのある文を用いて適切に表現できる。										
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験 N4 文法から伸ばす日本語										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発
1	手作りの物などを謙遜しながらすすめることができる。(能)						○				
	手作りの物などについて説明することができる。(能)						○				
2	言葉などの意味を簡単に説明できる。(能)						○				
	習慣や規則について説明したり質問したりできる。習慣などについてアドバイスをすることができる。(能)						○				
3	出身地を話題にして紹介することができる。(能)						○				
	出身地の場所や人の様子、有名な物などを説明できる。(能)						○				
4	聞いてきた情報を話題にして話すことができる。旅行の誘いや提案に対して、心配な気持ちを表すことができる。条件などを説明して、相手の心配をやわらげることができる。(能)						○				
	旅行の計画を話題にして、必要な準備や希望などについて話せる。(能)						○				
5	友だちに対して、事情説明を求められることができる。友だちに対して、自分が困ったことについて事情を説明できる。(能)						○				
	友だちに事情を説明したり感想を言ったりできる。けがなどをした友だちを気遣い、アドバイスができる。(能)						○				
6	趣味や習い事を話題にして、注意されたことや上達したことについて話すことができる。(能)						○				
	趣味や習い事について、自分が考えている今後の希望や計画が言える。(能)						○				
7	電話で、係の人に自分の希望を伝えたり、質問したりして、予約することができる。(能)						○				
	電話で、係の人の説明を理解して対応することができる。(能)						○				
8	インタビューなどでていねいな質問を聞いて、理解することができる。インタビューなどで質問に対して受け答えができる。(能)						○				
	自分の感想や今後の予定を言うことができる。(能)						○				
9	アルバイトの面接を受けて、専攻や経験なども含め、ていねいに自己紹介ができる。(能)						○				
	アルバイトの面接を受けて、条件や注意事項などを聞いて理解することができる。(能)						○				
評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験	50 %	文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法などの言語知識の理解を確かめるテスト								
	2. パフォーマンス	40 %	文型を使った産出能力を測るテスト								
	3. 自己評価	10 %	自己評価シートの振り返りなど								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時											

科目名	言語知識ⅡA						学期	前期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。								
授業内容	場面別の単語帳から幅広く語彙を学び、ポスター/メール/エッセイ/会話文/新聞記事/実用書/スピーチ/論文など様々なタイプの文章から、文型を学ぶ。								
包括的到達目標	学校、仕事、娯楽などの身近な話題や自身の関心事について、N3レベルの語彙・漢字および文法形式を適切に活用し、情報の主要点と詳細を正確に理解できる。また、得た言語知識を下支えとして、事実関係、経験、将来の計画などについて、理由や説明を伴う論理的で脈絡のある文章や談話を構成し、自律的に運用できる。								
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	料理の作り方を説明することができる(能)	○	○			○
	旅行などの初めての経験について、体験したことや考えたこと、感じたことが表現できる。(能)	○				
2	料理の作り方を説明することができる(能)	○	○			○
	ペットや家族を簡単に紹介したり、自分との関係を説明したりすることができる。(能)	○				
3	病院で病気やけがの症状を伝えることができる(能)	○	○			○
	参加者募集のお知らせを見て、申し込み方法などの内容が理解できる。イベントなどについて、経験者の感想や活動内容から、様子がイメージできる。(能)	○				
4	病院で病気やけがの症状を伝えることができる(能)	○	○			○
	個人的なことについて、確認したり意見や感想を交えたりしながら、友だちとおしゃべりができる。(能)	○				
5	ほしい服のイメージ・素材・サイズなどを伝えることができる(能)	○	○			○
	レシピを読んで、どんな料理か理解できる。レシピを読んで、料理の手順や注意が理解できる。(能)	○				
6	ほしい服のイメージ・素材・サイズなどを伝えることができる(能)	○	○			○
	環境問題など、あるテーマについての発表で、問題提起と自分の意見が言える。環境など、あるテーマについて具体例から結論まで話し、全体としてまとまった発表ができる。(能)	○				
7	自分やほかの人の性格について言うことができる(能)	○	○			○
	店員が説明するていねいな表現を理解し、受け答えができる。友だちと、最近の変化について話したり、強くアドバイスをしたりすることができる。(能)	○				
8	自分やほかの人の性格について言うことができる(能)	○	○			○
	初対面の人に敬意を示す基本的な表現を使って、あいさつや受け答えができる。(能)	○				
9	自分やほかの人の性格について言うことができる(能)	○	○			○
	身近な話題について、個人的な考え方や感じ方を表現することができる。特にこだわりがあるものなどについて、自分の気持ちを表現することができる。(能)	○				
	評価項目/割合	評価内容				
評価基準	1. 筆記試験 50 %	文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法などの言語知識の理解を確かめるテスト				
	2. パフォーマンス 40 %	文型を使った産出能力を測るテスト				
	3. 自己評価 10 %	自己評価シートの振り返りなど				
	筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。					
課外授業実施予定・時						

科目名	言語知識ⅡB						学期	後 期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2			
学習目的	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法分野の問題を用いながら、言語運用能力の支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。											
授業内容	場面別の単語帳から幅広く語彙を学び、ポスター/メール/エッセイ/会話文/新聞記事/実用書/スピーチ/論文など様々なタイプの文章から、文型を学ぶ。											
包括的到達目標	専門分野や社会的な諸問題に関する複雑な構造のテキスト(論説文、記事、論文等)において、N2レベルの語彙・文法知識を活用し、情報の論理構成や筆者の意図、細部までを正確に解読できる。様々な文脈において、状況にふさわしい表現や語句を使い分け、事実と意見を明確に区別した、説得力のある文章や談話を論理的に構成できる。											
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語											
技能												
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	発	発	
1	どんな家に住みたいか説明し、物件広告を読んで内容を理解することができる(能) お知らせなどの文章が読める。求人条件が理解できる。(能)						○	○			○	
2	どんな家に住みたいか説明し、物件広告を読んで内容を理解することができる(能) 改まった形で思い出話などをして、お別れのスピーチができる。改まった形で今後の展開などを話し、お礼のあいさつが言える。(能)						○	○			○	
3	結婚相手の条件と、その理由を言うことができる(能) 仕事などの社会生活の場面での心構えを聞いて、理解できる。クレーム対応の仕方などについての説明を聞いて、理解できる。(能)						○	○			○	
4	結婚相手の条件と、その理由を言うことができる(能) 天気予報、台風情報などのニュースを聞いて理解できる。(能)						○	○			○	
5	日本の季節を豊かに表現し、季節の便りを書くことができる(能) 自分の困った状況が友達に説明できる。友達の話に共感して励ますことができる。(能)						○	○			○	
6	日本の季節を豊かに表現し、季節の便りを書くことができる(能) 自分の困った状況、気持ちを友達に説明できる。友達の状況に共感して励ますことができる。自分の状況や決意したことを友達に話せる。(能)						○	○			○	
7	日本の慣用語・ことわざの使い方を説明することができる(能) レポートや論説文の、これまでの経緯や状況の説明が理解できる。(能)						○	○			○	
8	日本の慣用語・ことわざの使い方を説明することができる(能) ビジネス場面で社外の人との簡単な受け答えができる。(能)						○	○			○	
9	日本や自分の国の世界遺産や名所を紹介することができる(能) 身近な話題について、友達と自然な表現を使って話せる。(能)						○	○			○	
評価項目/割合		評価内容										
評価 基	1. 筆記試験	50 %	文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法などの言語知識の理解を確かめるテスト									
	2. パフォーマンス	40 %	文型を使った産出能力を測るテスト									
	3. 自己評価	10 %	自己評価シートの振り返りなど									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。												
課 外 授 業												

科目名	プロジェクトワーク I A					学期	後 期			
担当教員	折田真一・川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	自己表現、他者理解、異文化理解などのテーマにおいて、個人単位でもグループ単位でも自律的に企画に取り組み、地域社会のニーズを探りつつ、地域に貢献できる活動の実施を意識し、産出においてはより多くの人に伝わる発信方法を意識して、発信活動ができる。									
授業内容	1. 地域理解(パンフレット・地図・イベントの説明の読解) 2. インタビュー準備(質問作成・疑問詞の確認・敬語の練習) 3. インタビュー実施(地域の人・ボランティア先で) 4. 情報整理(メモ、録音の聞き返し、要点まとめ) 5. 発表(3～5分のミニプレゼン) 6. 振り返り(自己評価・ピア評価・次の行動計画)									
包括的到達目標	・身近な地域社会をテーマに、個人・グループで自律的に企画を立て、地域の人々への簡単なインタビューができる。・インタビューで得た情報を整理し、3～5分の口頭発表として他者に分かりやすく報告できる。 ・地域イベントや地域の人々との交流を通して、異文化理解・他者理解を深め、地域に貢献する活動に主体的に参加できる。・400字程度の簡潔な文章で地域調査の結果をまとめられる。									
使用テキスト										
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	・地域イベント(アートイン小杉)についてパンフレットを読み、内容を理解できる(活) ・地域の地図を読み、目的地の確認ができる(テ) ・インタビューの基本(疑問詞、丁寧表現)を使って質問を作ることができる(活)					○	○			
2	・アートイン小杉での活動説明を聞いて行動できる(活) ・出店者や来場者に簡単な質問ができる(活) ・聞いた内容をメモまたは録音し、要点を把握できる					○	○			
3	・インタビュー内容を聞き返し、必要な情報を整理できる(方) ・1～2分の簡単な体験共有(ミニプレゼン)ができる(活) ・400字の簡単な活動報告文を書ける(下書きレベル) (活)					○	○	○		
4	・アートイン小杉で得た情報をクラスに共有する (活) ・3分程度の発表を準備し、発表後の質問に答えられる (活) ・9月の活動をふまえ、12月の活動計画を立てられる (活)					○		○	○	○
5	<言語知識 授業期間>									
6	<言語知識 授業期間>									
7	<言語知識 授業期間>									
8	<言語知識 授業期間>									
9	<言語知識 授業期間>									
10	<言語知識 授業期間>									
11	<言語知識 授業期間>									
12	<言語知識 授業期間>									
13	<言語知識 授業期間>									
14	・子ども食堂(または地域ボランティア)についての案内資料を読み、活動内容を説明できる (活) ・ボランティアの指示を聞き取り、行動できる (活) ・子ども食堂(または地域ボランティア)スタッフ・利用者に簡単な質問ができる (活)					○	○		○	
15	・子ども食堂でのインタビュー内容を整理できる (活) ・活動を通して学んだことを具体的に述べられる (活) ・追加質問や質問の工夫(言い換え・聞き返し)ができる (方)						○	○	○	
16	・地域理解のためのパンフレットや地図を読み、餅つき大会の役割を理解できる (活) ・餅つき大会での簡単な交流(挨拶・質問)ができる (活) ・最終発表の構成(導入→調査内容→結果→感じたこと)を作れる (活)					○	○		○	
17	・最終発表(3～5分)を練習できる (活) ・聞き手の立場を意識して、話す順序や言葉を調整できる (活) ・400字の最終レポート(地域で学んだこと)を書くことができる (活)							○		○
18	・3～5分最終発表を実施し、質問に答えることができる (活) ・インタビュー活動から見えた課題や次への課題を述べられる (活) ・自己評価・ピア評価を行い、次のステップの目標設定ができる (活)								○	○
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 筆記試験 40 %		活動報告文、質問リスト、下書き・最終レポートの完成度・具体性・論理性							
	2. パフォーマンス 50 %		ミニ発表・最終発表・インタビューでの表現力、構成、質問対応、聞き手意識、協働力を総合評価							
	3. 自己評価 10 %		自己分析の深さ、改善点の明確化、次の行動計画の具体性							
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、メディア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施									

科目名	プロジェクトワークII A					学期	前期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	自己表現、他者理解、異文化理解などのテーマにおいて、個人単位でもグループ単位でも自律的に企画に取り組み、地域社会のニーズを探りつつ、地域に貢献できる活動の実施を意識し、産出においてはより多くの人に伝わる発信方法を意識して、発信活動ができる。										
授業内容	＜聞く＞インタビュー録音や説明を聞き、要点・意図を正確に把握できる。活動指示や協働指示を理解し、適切に行動できる。＜読む＞地域案内、資料、イベント説明文から必要情報を整理できる。活動計画や改善案の文書を読み、実行可能なタスクを理解できる。＜やりとり＞ 初対面の地域住民や関係者に、質問や追加質問を行い情報を深められる。グループメンバーと協働し、役割分担や意見調整を行える。＜発表＞ 調査・分析結果を5分程度で発表できる。発表後の質問や意見に理由付きで応答できる。＜書く＞ 活動報告や改善提案を500～600字程度の文章でまとめる。インタビュー・活動計画・振り返りの文書を作成し、ポートフォリオに整理できる。										
包括的到達目標	地域の人々や関係者へのインタビューを通して、課題やニーズを分析し、情報を整理できる。分析した情報をもとに、自分の意見や改善提案を論理的にまとめ、5分程度の口頭発表や500～600字の文章で報告できる。地域行事やボランティア活動を通して、協働・他者理解・異文化理解を深め、主体的に地域貢献活動に参加できる。2年間の地域プロジェクト活動をポートフォリオに整理し、自己成長を言語化できる。										
使用テキスト	なし										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発	
1	年間の活動目標を理解し、前期の個人目標を設定できる。(活)					○	○	○			
2	地域活動の役割について意見交換し、自分の考えを理由付きで述べられる。(活)					○	○		○	○	
	地域課題の例を挙げ、原因と影響を説明できる。(活)							○	○	○	
3	インタビュー計画を立て、質問を作成し、目的を明確にできる。(活)					○		○			
	地域連携地域探索の調査視点を設定できる。(活)							○			
4	地域探索でインタビューを実施し、情報を収集できる。(活)					○		○	○	○	
5	＜言語知識 授業期間＞										
6	＜言語知識 授業期間＞										
7	＜言語知識 授業期間＞										
8	＜言語知識 授業期間＞										
9	＜言語知識 授業期間＞										
10	＜言語知識 授業期間＞										
11	＜言語知識 授業期間＞										
12	＜言語知識 授業期間＞										
13	＜言語知識 授業期間＞										
14	地域探索インタビュー結果を振り返り、行動計画を立てられる。(活)					○	○	○			
15	ターゲットイベントについてキーマンにインタビューする内容を記述することができる。(活)							○			
	想定問答練習を行い、適切な表現で質問できる。(活)					○	○		○		
16	最終確認・準備ができる。(活)						○	○	○		
17	役割を果たしながら参与観察を行い、記録を取れる。(活)					○		○			
18	活動成果と課題を整理し、原因と改善案を説明できる。(活)							○		○	
	活動報告・改善提案を5分で発表し、質問に答えられる。(活)								○	○	
評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験 20 %	活動報告文、質問リスト、下書き・最終レポートの完成度・具体性・論理性									
	2. パフォーマンス評 70 %	① 参与・態度15% 地域活動への主体的参加、役割遂行 ② インタビュー・対話力10% 質問の明確さ、追加質問、相互理解 ③ 分析力20% 課題の原因・影響・根拠の明確さ ④ 発表力15% 構成、論理性、5分発表、質疑応答									
	3. 自己評価 10 %	活動報告文(500字) 改善提案文 発表原稿									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等	地域探検、金胎寺、旧北陸道商店街等										

科目名	プロジェクトワークⅡB					学期	後 期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	自己表現、他者理解、異文化理解などのテーマにおいて、個人単位でもグループ単位でも自律的に企画に取り組み、地域社会のニーズを探りつつ、地域に貢献できる活動の実施を意識し、産出においてはより多くの人に伝わる発信方法を意識して、発信活動ができる。										
授業内容	① 地域調査・参与観察 行事の目的・背景・運営体制の分析 参与観察による課題発見 インタビューによる情報収集 地域住民との協働活動 ② 課題分析・提案作成 原因分析(社会的・文化的視点) 課題の優先順位付け 実現可能な改善策の設計 効果予測と根拠提示 ③ 発信・報告 発表構成(問題→分析→提案→効果) 質疑応答練習 卒業成果発表資料作成 成果発表										
包括的到達目標	地域課題を多角的に分析し、根拠を示して論理的に説明できる。地域行事に主体的に参加し、具体的な貢献活動を実行できる。実現可能な改善提案を提示し、その効果を予測できる。600～800字の論理的文章を書き、5分以上の発表と質疑応答ができる。										
使用テキスト	なし										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発	
1	地域連携社会見学 地域施設・団体の目的と課題を理解し、観察記録と質問を実施できる。(活)					○	○		○	○	
2	課題分析深化 社会見学で見えた課題の原因と影響を分析できる。(活)					○		○			
3	アートイン小杉イベント 文化的意義を理解し、参与観察と運営補助を通して地域貢献ができる。(活)					○		○	○		
4	国際バザー出品回収活動 地域住民と連携し、出品物回収・説明活動を主体的に実行できる。(活)							○	○		
5	<言語知識 授業期間>										
6	<言語知識 授業期間>										
7	<言語知識 授業期間>										
8	<言語知識 授業期間>										
9	<言語知識 授業期間>										
10	<言語知識 授業期間>										
11	<言語知識 授業期間>										
12	<言語知識 授業期間>										
13	<言語知識 授業期間>										
14	こども食堂支援活動 活動補助を行いながら参与観察し、福祉的課題を説明できる。(活)						○		○	○	
15	最終分析統合 全活動を統合し、提案内容を具体化できる。(活)							○			
16	最終提案文完成 600～800字の論理的提案文を完成できる。(活)							○			
17	発表練習・質疑応答 5分以上の発表練習を行い、根拠を示して応答できる。(活)								○	○	
18	卒業成果発表会 地域連携活動の成果を発表し、質問に論理的に回答できる。(活・方)								○	○	
評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験 20 %	最終提案書(600～800字) 発表原稿 調査記録整理									
	2. パフォーマンス評 70 %	① 課題設定力13% 母一マの明確さ・妥当性 ② 分析力10% 原因・影響・根拠の提示 ③ 提案力13% 実現可能性・具体性 ④ 発表力14% 構成・論理性・質疑応答									
	3. 自己評価 10 %	成長分析2年間の変化を具体例で説明 課題認識度の目標設定が明確									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	地域探検、旧北陸道商店街等										

科目名	日本の社会と文化 I A						学期	前期			
担当教員	折田真一・川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2		
学習目的	日本社会における基本的な生活習慣や規則を学び、文化の違いに気づきながら、社会の一員として適切に行動する基礎を養う。										
授業内容	自分が生活する学校や地域社会、アルバイト先などルールや常識 自国文化との対照 留学生として日本に生活知の上で知っておかなければならない事、手続きなどに必要な日本語知識										
包括的到達目標	日本社会における基本的な習慣や規則について理解し、日本文化と自文化との違いについて平易な日本語で記述し、発表ができる。 社会の一員として配慮ある行動をとることができる。										
使用テキスト	※参考資料として「動画で学ぶ はじめての日本の生活」ウイネット										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発
1	学校生活に関する基本的な規則を理解し、守って行動できる。(活)						○	○			
2	アパートでの生活に関する基本的な規則やマナーを理解し、守って行動できる。(活)						○	○			
3	キャンパスツアーの説明を聞いて、タスクシートに書く内容を選ぶことができる。(活) キャンパスツアーをしながらタスクシートに記入することができる(活)						○	○			
4	場面にあった基本的なあいさつができる(活)						○	○		○	○
5	地域のごみ分別表示を理解できる。(テ) 実際の掲示を見て確認・判断できる(方)						○	○			
6	自転車の乗り方やマナー・ルールを理解することができる(活) 実際のケースでどうするのが正しいか判断できる(方)						○	○			○
7	病気やけがをしたときの対処方法について基本的なことは理解できる(活) 体の場所や基本的な症状のことばについて基本的な語彙で伝えられる(能)						○	○			○
8	市役所での手続きの書類に最低限の記載ができる(活) 市役所でやりとりしながら基本的な手続きができる(方)								○	○	
9	日本での資格外活動(アルバイト)についてルールとマナーについて理解できる(活)						○	○			
10	日本と自国のマナーについて「違うところ」を簡単な日本語で400字書くことができる(活)								○		
11	日本と自国のマナーについて「違うところ」を簡単な日本語で発表することができる(活)										○
12	交通事故の対応について対処するための情報を理解できる(活)						○	○			
13	交通事故に基本的な対応ができる(方)									○	
14	自然災害の対応について対処するための情報を理解できる(活)						○	○			○
15	自然災害に基本的な対応ができる(方)										
16	日本の教育制度について理解できる(活)						○	○			
17	自国の日本の教育制度の「違う事」を簡単な日本語で書くことができる。 自国と日本の社会や文化の違いを整理して書くことができる。								○		
18	自国と日本の社会や文化の違いを整理して短い発表をすることができる。										○
	評価項目/割合						評価内容				
評価基準	1. 筆記試験	40 %	身近な社会のルールや知識に関わる小テスト								
	2. パフォーマンス	50 %	自国と日本の違いについての作文と発表 場面ごとのあいさつ、様々なケースへの対応タスク								
	3. 自己評価	10 %	9週目、18週名の「キャリアマネジメント I A」での自己評価の結果を反映								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施										

科目名	キャリアマネジメント I A					学期	前期
担当教員	折田真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。						
授業内容	日本語学習の基礎段階にある学習者が、自分の「できること」に気づき、学習の振り返りを行う習慣を身につけることを目的とする。CEFRのCan-do記述を用いて簡単な自己評価を行い、学習歴や日々の学習内容をポートフォリオに記録する方法を学ぶ。また、短期的な学習目標を設定し、「何をどのように」学ぶかを具体的に言語化する練習を行う。						
包括的到達目標	学習者自身の日本語学習状況を振り返り、できること・できないことを簡単な言葉で表現し、ポートフォリオに記録することができる。						
使用テキスト	なし						

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	発
1	・科目の目的を理解できる(活) ・ポートフォリオの構成を理解できる	○	○		
2	・自己評価ツールに回答できる(活) 結果をポートフォリオに保存できる ※初回チェック	○			
3	・できる項目を3つ選び、1文で書ける(活) ※できることリスト保存	○		○	
4	・できない項目を各言語活動で1つ選べる(活) ・「～できるようにしたい」と書ける。(活) ※目標①保存	○	○	○	
5	・目標を1文で具体化できる(活) ※目標①保存	○			
6	・曜日と「～をします」を使って1週間の計画を書ける(活) ※週間計画①保存	○		○	
7	・「～をべんきょうしました」を使って2文書ける(活) ※学習記録①保存	○		○	
8	・学習内容と量をそれぞれ1文で書ける(活) ※学習記録②保存	○		○	
9	・再度自己評価を実施できる(活) ・前回との違いを1つ見つけられる ※中間チェック&比較メモ 保存	○	○	○	
10	・「前より～できる」と1文で書ける(活) ※成長メモ①保存			○	
11	・できない理由を1文で書ける(活) ※課題メモ保存			○	
12	・改善方法を1文で書ける(活) ※改善計画保存			○	
13	・計画を修正して書き直せる(活) ※週間計画②保存			○	
14	・自分の勉強方法を2文で説明できる(活) ※学習方法メモ保存	○	○		
15	・できることを5つ書ける(活) ※できることリスト更新の保存			○	
16	・学期の学習を3文でまとめられる(活) ※振り返り下書き保存			○	○
17	・1～2分で成長を発表できる(活) ※発表原稿保存			○	○
18	・最終自己評価を実施できる(活) ・初回と比べて2つの変化を書ける ※最終チェック最終振り返り			○	○
	評価項目/割合	評価内容			
評価基準	1. 筆記試験 20 %	① かんたんな学習計画書(最終版)10% 内容:1週間の計画(曜日+動詞) 目標1つ 理由1文 ② ふりかえりシート(期末)10% 内容:できるようにしたこと2文 むずかしいこと1文 次の目標1文			
	2. パフォーマンス 70 %	Aポートフォリオ運用(40%) 評価観点:提出の継続(毎週あるか)10% 学習記録が2文以上書かれているか 10% 計画一実行一振り返りがあるか 10% 整理されているか(ファイル管理)10% B小発表・共有活動(20%) 内容:目標を言う 1週間の勉強を言う できたことを言う C. 学習行動評価(10%) 計画提出 記録提出 授業内活動参加			
	3. 自己評価 10 %	にほんごチェック(初回) できることリスト 期末自己評価			
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。					
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等					

科目名	キャリアマネジメント I B					学期	後 期
担当教員	折田真一	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。						
授業内容	自己評価を行う・課題を特定する・目標を設定する・週間学習計画を立てる・学習記録を書く・計画を振り返り修正する・自分の日本語力を説明する・成果を発表する すべてをポートフォリオに保存する。						
包括的到達目標	自己評価をもとに課題を1つ選び、理由を述べ、計画を立てて修正できる。						
使用テキスト	なし						

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	・I Aのポートフォリオを見て、できることを3つ言える。(活) ※保存: I A最終振り返りの再記入+気づきメモ	○		○		○
2	・にほんごチェックを再実施し、結果を記録できる。(活) ※保存: 自己評価(第1回)	○		○		
3	・前回との違いを2つ書ける。(活) ※保存: 比較シート	○		○		
4	・苦手項目を1つ選び、「～がむずかしいです」と書ける。(活) ※保存: 課題特定シート	○		○		
5	・「～からです」を使って理由を書ける。(活) ※保存: 理由メモ	○		○		
6	・数字を入れて1か月目標を書ける。(活) ※保存: 目標設定シート(数値入り)	○		○		
7	・曜日を使って1週間の学習計画を5文で書ける。(活) ※保存: 週間計画①	○		○		
8	・学習記録を3文で書ける。(活) ※保存: 学習記録①	○		○		
9	・できなかった理由を1文で書ける。(活) ※保存: 課題分析メモ	○		○		
10	・改善方法を1文で書ける。(活) ※保存: 改善計画①			○		
11	・中間自己評価を行い、変化を1文で書ける。(活) ※保存: 自己評価(第2回)+変化メモ			○		
12	・計画を修正して書き直せる。(活) ※保存: 週間計画②(修正版)			○		
13	・自分に合う勉強方法を選び、理由を言える。(活) ※保存: 学習方法比較シート			○		○
14	・進学に必要な日本語力を2つ言える。(活) ※保存: 進学条件メモ			○		○
15	・今の日本語力を2文で説明できる。(活) ※保存: 自己能力説明文			○	○	○
16	・課題と今後の計画を述べられる。(活) ※保存: 今後の学習計画			○	○	○
17	・模擬面接に対応できる。(活・能) ※保存: 面接振り返りシート			○	○	○
18	・志望理由と将来計画を段落でまとめ発表できる。(活) ※保存: 最終発表原稿+総括振り返り			○	○	○
	評価項目/割合	評価内容				
評価基準	1. 筆記試験 20 %	① 志望理由書(最終稿)…10% ② 学習計画書(最終版)…5% ③ 成長振り返りレポート…5%				
	2. パフォーマンス評 70 %	① 発表・面接(30%) 志望理由発表 最終発表 模擬面接 ② ポートフォリオ運用評価(40%) 継続性(毎週提出しているか) 記録の具体性(2文→段落へ発展しているか) 修正履歴(推敲・改善が見えるか) 計画→実行→振り返りの循環があるか 証拠資料(原稿・メモ・比較表など)が整理されているか				
	3. 自己評価 10 %	① にほんごチェックの記録 ② 目標修正履歴 ③ 最終自己分析レポート				
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。						
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施					

科目名	キャリアマネジメントⅡA					学期	前期			
担当教員	折田真一	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。									
授業内容	将来目標を明確にする・進学先・分野の情報を調べ整理する・志望理由の構成を学ぶ・志望理由書を作成・推敲する・自己PRを作成する・学習計画を再設計する・模擬発表を行う・フィードバックを受けて修正する ポートフォリオを整理する。									
包括的到達目標	進学・就職を含む多様な進路選択肢について理解を深め、体験活動を通して得た情報を根拠に、自身の目標・強み・日本語能力を関連づけて説明できる。									
使用テキスト	なし									
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	・将来やりたいことを複数挙げて説明できる。(活) ※保存: 将来目標リスト					○		○		○
2	・複数の進路選択肢を整理できる。(活) ※保存: 進路比較表					○		○		
3	・各分野の特徴を調査しまとめられる。(活) ※保存: 分野調査シート					○		○		
4	・体験活動の観点を準備できる。(活) ※保存: 質問・観点リスト					○		○		
5	・体験内容を記録できる。(活) ※保存: 授業参加・説明会記録①					○		○		
6	・体験内容を目標と関連づけられる。(活) ※保存: 体験振り返り①					○		○		
7	・複数分野を比較できる。(活) ※保存: 比較整理表					○		○		
8	・自分に合う分野を理由とともに説明できる。(活) ※保存: 志望分野決定理由					○		○		
9	・志望理由の構成を理解できる。(活) ※保存: 構成メモ					○		○		
10	・体験を根拠に志望理由を書き始められる。(活) ※保存: 志望理由第1稿							○		
11	・具体例を加えて推敲できる。(活) ※保存: 第2稿(修正履歴付き)							○		
12	・志望理由を完成できる。(活) ※保存: 完成稿							○		
13	・志望理由を口頭で説明できる。(活) ※保存: 発表原稿							○	○	
14	・質問に複数文で答えられる。(活) ※保存: 想定質問回答								○	
15	・自己PRを具体例とともに書ける。(活) ※保存: 自己PR草稿							○		
16	・現在の日本語力と課題を説明できる。(活) ※保存: 自己分析シート							○		○
17	・進路実現に向けた学習計画を立てられる。(活) ※保存: 中長期学習計画							○		○
18	・将来目標・根拠・学習計画を一貫して説明できる。(活) ※保存: 最終発表原稿+総括振り返り							○	○	○
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 筆記試験 20 %	① 志望理由書(完成稿)15% ② 自己PR最終稿 5%								
	2. パフォーマンス評 70 %	A. 発表・質疑応答(30%) ① 志望理由発表(15%) ② 模擬質疑応答(15%) B. ポートフォリオ運用(40%) ① 提出の継続性(10%) ② 体験記録の具体性(10%) ③ 推敲・修正履歴(10%) ④ 計画→振り返り→改善の循環(10%)								
	3. 自己評価 10 %	① 自己分析シート(5%) ② 期末総括振り返り(5%)								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施									

科目名	キャリアマネジメントⅡB					学期	後 期			
担当教員	折田真一	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。									
授業内容	進路目標を再確認・具体化 ・必要能力を分析 ・志望理由書を高度化 ・自己PRを再構築 ・面接想定質問に対応 ・模擬面接を実施 ・長期学習計画を再設計 ・4期分のポートフォリオを整理・統合 最終発表を行う。									
包括的到達目標	進路目標と自己の経験・強み・日本語能力を根拠をもって関連づけ、志望理由・自己PR・面接応答を論理的かつ一貫して表現できる。また、4期分の学習成果を整理し、自身の成長を客観的に説明できる。									
使用テキスト	なし									
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	・自分の進路目標を具体的に再定義できる。(活) ※保存:進路目標再設定シート							○		
2	・進路に必要な能力を整理できる。(活) ※保存:必要能力分析表							○		
3	・現在の日本語力とのギャップを説明できる。(活) ※保存:自己到達度分析							○		○
4	・これまでの体験を整理できる。(活) ※保存:経験整理一覧							○		
5	・志望理由の論理構成を再設計できる。(活) ※保存:構成再設計メモ							○		
6	・志望理由を具体例を用いて書き直せる。(活) ※保存:志望理由改訂第1稿							○		
7	・根拠を明確にして改善できる。(活) ※保存:改訂第2稿(修正履歴付き)							○		
8	・一貫性を意識して完成稿に近づけられる。(活) ※保存:志望理由第3稿							○		
9	・自己PRを論理的に再構成できる。(活) ※保存:自己PR改訂稿							○		
10	・想定質問への回答を論理的に準備できる。(活) ※保存:想定質問回答集							○		
11	・模擬面接で根拠を示して答えられる。(活) ※保存:面接振り返り①							○	○	
12	・フィードバックを反映し改善できる。(活) ※保存:面接改善メモ							○	○	
13	・長期的な学習・キャリア計画を立てられる。(活) ※保存:中長期キャリア計画書							○		
14	・4期分の成長を整理できる。(活) ※保存:成長比較一覧							○		
15	・成長の根拠を具体例で説明できる。(活) ※保存:成長エビデンス整理							○	○	
16	・ポートフォリオを体系的に再構成できる。(活) ※保存:最終ポートフォリオ構成案							○		
17	・将来計画を論理的に発表できる。(活) ※保存:最終発表原稿							○		○
18	・進路目標・成長・計画を一貫して説明できる。(活) ※保存:最終総括レポート							○	○	○
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 筆記試験 20 %	① 志望理由書(最終完成稿)15% 中間キャリア計画書 5%								
	2. パフォーマンス計 70 %	A. 発表・面接(35%) ① 最終プレゼンテーション(20%) ② 模擬面接(15%) B. ポートフォリオ完成度(35%) ① 継続性・整理(10%) ② 推敲・改善履歴(10%) ③ 成長エビデンスの提示(10%) ④ 学習循環の確立(5%)								
	3. 自己評価 10 %	① 最終自己分析レポート 5% ② 4期総括振り返り書 5%								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等										

科目名	総合日本語 I A						学期	後 期			
担当教員	山崎 真理子・鍛冶田 芳衣・永山 香織	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	16		
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠A2.2～B1.1レベルの日本語の運用能力を構築する。										
授業内容	前半は1段階目として日本語の構造を体系的に学び、能力Can-Do(語彙能力、文法能力、音声能力、正書法の能力)を達成する。2段階目としてその構造が現実世界でどのように機能するのか、どのような場面で運用するのかを学び、具体的な活動Can-Do(受容活動、相互行為活動、産出活動)を達成する。後半はクラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。										
包括的到達目標	仕事や学校での身近な話題について、共通語による情報の主要点を理解できる。関心のあるテーマに対し、簡単な接続詞を用いて論理的に結びついたテキストを構成し、理由を添えて発信できる。相手が協力的であれば、質問や補足説明をして会話を維持できる。										
使用テキスト	みんなの日本語初級Ⅱ本冊、文法解説書、文型練習帳、トピック25、タスクベースで学ぶ日本語中級1										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発
1	迷惑に感じた体験、行為について感想、評価、し忘れたこと、情報を知っているかどうかの確認が言える。伝えたいことを強調して伝えられる。(能) 歴史的な建造物についての説明が聞いてわかる。社交会話ができる。(活)						○	○	○		
2	ある事柄が原因で、その結果としてある感情や事態が生じたことを説明できる。理由、弁解、事情の説明ができる。(能) 人に迷惑をかけたとき、丁寧に理由を説明して謝ることができる。(活)						○	○	○		
3	疑問に思っていることについての感想、判断またはそれに基づく行動が表明できる。やってみようと思うことが言える。(能) 心配ごとの相談ができる。(活)						○	○	○		
4	上下や親疎の関係をわきまえた授受表現、丁寧な依頼、目的の表明、物の用途、評価、何かをするのに必要な時間、経費が言える。(能) 丁寧な表現を使って、恩恵を受けた経験を発表することができる。お金の使い方や貯金について雑談ができる。(活)						○	○	○		
5	物事の変化の見通しや状態・性質を推察した表現、過度な状態、物を使用する際の難易度の評価、自分の選択、決定を伝えることができる。(能) 外見、外観から受けた印象や感想が言える。美容院に行つて、希望の髪型が伝えられる。(活)						○	○	○		
6	ある事態を想定した対処のし方、期待外れの結果に対する話し手の意外感や不満の気持ちを表すことができる。(能) 場面、状況に応じた指示や対応ができる。また、予想外の結果について、残念・不満などの気持ちが表現できる。(活)						○	○	○		
7	動作の段階、事態や状況説明、動作が終了してからあまり時間がたっていないという気持ち、確信、情報の伝聞、状況判断が述べられる。(能) サービスセンターに修理を依頼することができる。伝聞や推測の表現を用いて、おしゃべりに参加できる。(活)						○	○	○		
8	行為の強制や許可・容認、丁寧な許可求めができる。上下親疎の関係に基づく表現の違いを理解し、適切に使える。(能) 丁寧な表現を用いて、許可を求めることができる。敬語を用いて、電話をかけた後、伝言を頼んだりできる。(活)						○	○	○		
9	上下親疎の関係に基づく表現全体の体系を理解し、謙譲語を適切に使うことができる。(能) 改まった場面で、敬語を用いて、適切な受け答えができる。(活)						○	○	○		
10	習い事の経験について、インタビューを聞いて理解したり、知っていることを話したりできる。(活) 習い事の経験について、自分の気持ちや考えを理由も織り交ぜながら、時系列で語るができる。(活)							○		○	
11	日本語の表記(漢字・ひらがな・カタカナ)について、現在知っていることを話したり共有したりできる。(活) 日本語の表記の歴史や使い分けについて、事実に基づいて書かれた平易な説明文を読み、理解することができる。(活)										○
12	昔話の動画を見たり、知っていることについて話したりして、物語の流れを把握できる。(活) 「浦島太郎」などの昔話の流れを理解した上で、想像を膨らませて新しい結末を創作して書くことができる。(活)							○		○	
13	1課～3課のポストタスク(習い事の経験について発表、日本語の表記について調べたことを紹介、昔話の新しい結末を紹介・意見交換)からいずれかの関心のあるテーマに対する自分の気持ちや考えを、簡単な接続詞を用いて論理的に結びついたテキストで構成し、理由を添えて発信できる。(活)						○		○	○	○
14	旅行について知っていることを話したり、行き先などの情報を資料から探して読み取ったりできる。(活) グループ旅行の具体的な計画(どこで何をするか等)を立てるために、仲間と意見を出し合い、話し合うことができる。(活)						○			○	
15	国や地域の違いについて知っていることを話したり、インタビューを聞いて内容を理解したりできる。(活) 身近な国・地域と日本の習慣や制度等の違いについて、比較しながらまとまりのある文章を書くことができる。(活)							○		○	
16	音楽について知っていることを話したり、関連するブログ記事を読んで内容を理解したりできる。(活) ラジオなどのメディアで音楽の思い出について語られているのを聞き、その主要な点を理解することができる。(活)						○		○		
17	特定のテーマ(点字ブロック等)について知っていることを話したり、解説の動画を見たりして概要を理解できる。(活) 事実に基づいて書かれた説明文を読み、その主旨や内容のポイントを的確に理解することができる。(活)							○		○	
18	4課～7課のポストタスク(グループ旅行の計画について説明、母国と日本の制度や習慣の違いについて比較、音楽の思い出について話す、日本の発明について調べて発表)からいずれかの関心のあるテーマに対する自分の気持ちや考えを、簡単な接続詞を用いて論理的に結びついたテキストで構成し、理由を添えて発信できる。(活)						○		○	○	○
評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験 40 %	数課毎の文法・読解・聴解テスト									
	2. パフォーマンス 50 %	数課毎のパフォーマンステスト									
	3. 自己評価 10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等											

科目名	総合日本語ⅡA						学期	前期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	14
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠B1.1～B1.2レベルの日本語の運用能力を構築する。								
授業内容	クラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。情報を受け取るだけでなく、別の視点から考えたり、自らの思考に落とし								
包括的到達目標	学校生活や自身の専門分野、および関心のある社会的な話題において、明瞭な日本語による情報の要旨と重要な詳細を正確に理解できる。事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。また、公式な議論や問題解決を伴う場面において、適切な丁寧さを用いて自律的にやり取りを継続・深化させることができる。								
使用テキスト	タスクベースで学ぶ日本語中級2、読む聞く考える日本語トレーニング								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	「和語」「漢語」「外来語」について知っていることを話したり、説明文を読んで情報を収集したりできる。(活)	○			○	
	「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
2	自分で調べた特定の言葉について、その由来や使い分けを適切に説明することができる。(活)					○
	「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
3	「ユニバーサルデザイン」について自分の考えを話し、クラスメートと共有できる。(活)				○	
	「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
4	企業のユニバーサルデザインへの取り組みに関する動画を見て、その要点を正確に聞き取ることができる。(活)		○			
	「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
5	身近な公共施設について知っていることを話したり、関連する短い情報を読み取ったりできる。(活)	○			○	
	「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
6	公共施設の特徴や歴史的背景に関するまとまりのある説明文を読み、その構成や内容を理解できる。(活)	○				
	「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
7	1課～3課のポストタスクからいずれかを深め、事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。		○	○	○	○
8	「変身願望」について自分の意見を述べ、関連するインタビューを聞いて大まかな内容を把握できる。(活)		○		○	
	「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
9	自分の変身願望や自分を変えた経験について、まとまりのある文章で書くことができる。(活)			○		
	「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
10	防災について知っていることを話し、ウェブなどで必要な防災グッズの情報を検索して集めることができる。(活)	○			○	
	「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
11	検索した情報を共有しながら、グループで話し合っって優先順位を考えた防災グッズのリストを作成できる。(活)				○	
	「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
12	4、5課のポストタスクからいずれかを深め、事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。		○	○	○	○
13	地球環境について自分の考えを話し、提示された資料から重要な情報を読み取ってまとめることができる。(テ)	○			○	
	「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
14	環境問題に関する自分の意見を、適切な構成と具体例を用いて論理的に書くことができる。(活)			○		
	「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
15	「メディア・リテラシー」について話し、講義の動画を視聴して重要なポイントを聞き取ることができる。(活)		○		○	
	「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
16	視聴した講義の内容に基づいて、他の学習者と意見を交換し、理解を深めることができる。(活)				○	
	「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、その内容から考えて情報をまとめたり、一歩進んで推測や考察ができる。(テ)(方)	○	○		○	
17	6、7課のポストタスクからいずれかを深め、事実関係を整理し、根拠に基づいた自身の意見や計画を論理的に構成して、口頭および記述で詳細に発信できる。		○	○	○	○
18	これまでに扱った「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の話題に関する文章や音声の中から、自分の興味のあるトピックを選び、より「思考のロジック」を深め、同じ興味で集まったグループに共有後、意見を統合し、クラスにも共有できる。		○	○	○	○

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験 40 %	それぞれのタスクやトピックに関連した言語知識、読解、聴解
	2. パフォーマンス 50 %	それぞれのタスクやトピックに関する発信活動
	3. 自己評価 10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
筆記試験は文字読解・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		

課外授業実施予定・時事ニュース、レシア、ゲラ、ゲスト等	
-----------------------------	--

科目名	総合日本語ⅡB						学期	後 期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	14
学習目的	読む、聞く、書く、やりとり、発表の5技能をバランスよく練習し、参照枠B2.1～B2.2レベルの日本語の運用能力を構築する。								
授業内容	クラスメートと対話するタスクを通じて、日本語の力を高めるとともに、テーマについての理解や思考も深める。情報を受け取るだけでなく、別の視点から考えたり、自らの思考に落とし込んで深める。								
包括的到達目標	自身の専門分野や関心のある社会的な諸問題について、複雑な文脈を持つ情報の要旨と詳細を正確に把握し、批判的に理解できる。多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができ、学術的な議論や複雑な交渉の場においても、流暢かつ自然なやり取りで主体的に貢献できる。								
使用テキスト	タスクベースで学ぶ日本語中級3、読む聞く考える日本語トレーニング								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	動物と人間のかかわりについて、自分の経験や考えを話したり、新聞の投稿を読んで情報を得たりできる。(活) 「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
2	動物介在教育についてのインタビュー動画を視聴し、その内容について自分の意見をまとめた文章で書くことができる。(活) 「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)		○	○		
3	地域の活性化に関するニュース記事を読み、その要点を読み取ってクラスメートと話し合うことができる。(活) 「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
4	自分の町を活性化させるためのアイデアを調査し、その結果をまとめて発表することができる。(活) 「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	○
5	「大切なもの」に関する調査データなどの資料を読み取り、その情報を整理して他者に伝えることができる。(活) 「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○				○
6	読み取った情報や調査結果をふまえ、自分自身の考えを論理的なレポートにまとめて書くことができる。(活) 「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○	○		
7	1課～3課のポストタスクからいずれかを深め、多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができる。		○	○	○	○
8	幸福度ランキングなどの複数の資料を読み比べ、必要な情報を抽出してグループで話し合うことができる。(活) 「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
9	資料から得た情報をもとに、幸福についての自分なりの考察を構成を立てて発表することができる。(活) 「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	○
10	社会的な「役割」に関するインタビューや会話を聞き、自分の経験や考えを織り交ぜて話すことができる。(活) 「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
11	役割の社会的機能について述べられた専門的な文章を読み、筆者の主旨や論理構成を的確に理解できる。(活) 「エッセイ・ノンフィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
12	4、5課のポストタスクからいずれかを深め、多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができる。		○	○	○	○
13	食品ロスなどの環境問題について、自分の考えを話したり関連する記事を読んで知識を深めたりできる。(活) 「フィクション」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○			○	
14	食品ロスに関する専門的な講義を聞いて要点を理解し、それに対する自分の意見をコメントシートに書くことができる。(活) 「生活」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)		○	○		
15	自分の将来や社会貢献について考えを話し、他者の社会活動に関する発表を聞いて内容を把握できる。(活) 「ニュース」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	
16	ある学生の社会体験に関する話を聞き、それを踏まえて今後自分がどのように社会と関わりたいかについて話すことができる。(活) 「ビジネス・アカデミック」の話題に関する文章を読んだり、音声を聞いたりし、内容に関連して、自分の考え・意見を述べるができる。(活)	○	○		○	○
17	6、7課のポストタスクからいずれかを深め、多様な視点を踏まえた論理的な構成により、明確かつ詳細な記述や口頭発表を行うことができる。		○	○	○	○
18	これまでに扱った「生活」「ニュース」「ビジネス・アカデミック」「エッセイ・ノンフィクション」「フィクション」の話題に関する文章や音声の中から、自分の興味のあるトピックを選び、より「思考のロジック」を深め、同じ興味で集まったグループに共有後、意見を統合し、クラスにも共有できる。		○	○	○	○

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験	40 %	それぞれのタスクやトピックに関連した言語知識、読解、聴解
	2. パフォーマンス	50 %	それぞれのタスクやトピックに関する発信活動
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
	筆記試験は文字読解・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		

課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等	
--------------------------	--

科目名	漢字 I A						学期	後 期	
担当教員	土井 衿奈	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	生活で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。								
授業内容	第1段階として基本的な漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面での入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。								
包括的到達目標	日常生活や学校生活における身近な話題について、主要な漢字(既習分と合わせ300字程度)の意味と読みを理解できる。デジタル機器を用いて必要な情報を検索し、日常的な連絡や短い文章を入力できるとともに、各種の申請書類への記入や、身近な事柄についてのまとまりのある短い文章を正確に書くことができる。								
使用テキスト	漢字たまご 初中級、中級1								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	アルバイト募集のポスター、情報誌、ウェブサイトにかかれた募集条件に関する漢字がわかり、自分の希望に合った仕事を選ぶことができる。(活) アルバイト募集に応募するため、履歴書に簡単な自己アピールや応募動機などを書くことができる。(活)	○				
2	デパートや量販店で、施設案内がわかる。(活) インターネットショッピングで希望の品物を買うために、サイト上の商品案内や説明を読むことができる。(活)	○				
3	インターネットや進学ガイドブックなどから、進路に関わる簡単な情報(進学・就職など)がわかる。(活) 冊子の中の必要なページを見つけて、説明会などのお知らせの内容がわかる。(活)	○				
4	役所や交流協会からの簡単なお知らせを読むことができる。(活) 携帯電話の料金プランがわかる。(活)	○				
5	電車の種類がわかり、乗る電車を選ぶことができる。(活) 駅で困ったとき、構内図を見て、どこへ行けばいいかわかる。(活)	○				
6	インターネットの旅行サイトや旅行パンフレットを見て、旅行行程や条件、宿泊施設の設備、利用者のコメントなどに関する簡単な情報がわかる。(活) 宿泊施設に質問のメールを書くことができる。(活)	○				
7	スーパーの売り場案内を見て、目的の場所がわかる。(活) 食品のパッケージに書いてある簡単な表示がわかる。(活)	○				
8	不動産屋の依頼書に必要な希望事項を書くことができる。(活) 不動産の物件情報がわかる。(活)			○		
9	仕事先で、貼紙の注意事項などの簡単な情報がわかる。(活) 日本人の名前を聞き、説明を受けて領収書に名前を書いたり、パソコンで漢字に変換したりできる。(活)	○				
10	レジャースポットを示す言葉がわかる。(活) 公園やキャンプ場の案内図を見て、どこに何があるかがわかり、行きたい場所を探ることができる。(活)	○				
11	地域の施設に関するお知らせ、ゴミの出し方のお知らせがわかる。(活) 路上で目にする標識や交通規制、工事などの案内板がわかる。(活)	○				
12	健康や美容のために使う器具の簡単な説明を読むことができる。(活) インターネットなどで健康になるための情報を読むことができる。(活)	○				
13	学内の掲示板や案内図などを見て、必要な情報(課題、教室、サークルのお知らせなど)がわかる。(活) シラバスを見て、履修の条件や内容がわかる。(活)	○				
14	日本の地方名や(学習した漢字の)都道府県名がわかる。(活) 日本の行事についての簡単な説明がわかる。(活)	○				
15	インターネットのニュースサイトのトピックスがわかる。(活) 新聞記事を読み、大まかな内容がわかる。(活)	○				
16	交流会のお知らせを読むことができる。(活) 学習した漢字が使われている日本人の名前を読んだり、書いたりすることができる。(活)	○				
17	新しく知り合った人とSNSでやり取りができる。(活) スマートフォンやテレビで天気予報を見て、天気についての情報がわかる。(活)	○				
18	レストランやお弁当屋などの商品の説明や値段がわかる。(活) 食品のパッケージに書いてある表示や説明がわかる。(活)	○				

	評価項目/割合	評価内容
評価基準	1. 筆記試験 50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト
	2. パフォーマンス 40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト
	3. 自己評価 10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		
課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等		

科目名	漢字ⅡA						学期	前期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	進学で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。								
授業内容	第1段階として漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面で入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。								
包括的到達目標	公共の掲示やウェブサイト、身近なトピックに関する短い記事に含まれる漢字(約600字程度)を読み、その素材から自分に必要な情報や筆者の意図を正確に理解できる。自分の状況や意見について、文脈に合った漢字を適切に選択し、デジタル機器で入力したり、理由を伴うまとまりのある文章を正確に手書きしたりできる。								
使用テキスト	漢字たまご 中級1、中級2								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	発
1	インターネットで買い物をするとき、商品の情報や評価を見て比較、選択することができる。(活)	○			
	宅急便を送るために、漢字を使って伝票を書くことができる。(活)			○	
2	店内や施設内の注意書きやお知らせなどがわかる。(活)	○			
	乗り換え案内アプリを使って、自分の希望に合ったルートを探ることができる。(活)	○			
3	駅や電車内の表示や注意書きがわかる。(活)	○			
	留学生生活について、漢字を使って書くことができる。(活)			○	
4	銀行のATMの画面の指示や注意書きがわかる。(活)	○			
	書類(入学願書、奨学金申請書など)に必要な事項を書くことができる。(活)			○	
5	公共料金や携帯電話の請求書や明細、払い込み書などの内容がわかる。(活)	○			
	図書館の利用案内やお知らせの内容がわかる。(活)	○			
6	災害の緊急速報を見て、災害の状況や必要な行動がわかる。(活)	○			
	防災に関する情報(準備すること、お知らせなど)がわかる。(活)	○			
7	交通機関の運行状況がわかる。(活)	○			
	遅刻に関するメッセージのやり取りができる。(活)			○	○
8	地図を見て、目印となる建物などがわかり、目的地への行き方がわかる。(活)	○			
	観光マップを見て、その観光地の情報がわかる。(活)	○			
9	ガイドブックに書かれているその国、地域の気候や特徴について読むことができる。(活)	○			
	自分の出身地についての基本的な情報をポスターに漢字を使って書くことができる。(活)			○	
10	お知らせなどから、ボランティア活動の内容がわかる。(活)	○			
	お世話になった人に就職、進学、結婚、引っ越しなどの出来事をメッセージや手紙などで報告することができる。(活)			○	
11	折り紙の説明を読んで、折り方がわかる。(活)	○			
	メニューを見て、どんな料理かがわかる。(活)	○			
12	お祝いの気持ちを書いて伝えることができる。(活)			○	
	SNSで友達の投稿を読んでコメントすることができる。(活)			○	
13	漫画を読んで登場人物の心情などがわかる。(活)	○			
	歌のタイトルや歌詞を読むことができる。(活)	○			
14	記号のような漢字がわかり、その漢字から店や学校のお知らせ、表示の内容がわかる。(活)	○			
	形声文字の音符から読み方を類推することができる。(方)	○			
15	助数詞を表す漢字がわかり、それが何の数を表す情報なのかわかる。(能)	○			
	学習した漢字が使われている四字熟語、慣用句、ことわざを読み、意味がわかる。(能)	○			
16	SNS上にある観光地の情報がわかる。(活)	○			
	宿泊施設の情報がわかり、希望に合ったところを選ぶことができる。(活)	○			
17	バスや電車の座席を予約するインターネットサイトの情報がわかる。(活)	○			
	SNSに自分の旅行の様子や感想を漢字を使って書くことができる。(活)			○	
18	食品名や調味料の種類を理解することができる。(活)	○			
	ショッピングセンターの館内案内や店内表示を理解することができる。(活)	○			

評価項目/割合

評価内容

評価基準	1. 筆記試験	50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト
	2. パフォーマンス	40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど
	筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。		

課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等

科目名	漢字ⅡB						学期	後 期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2			
学習目的	進学で必要とされる基礎的な漢字の意味理解、読み、打ち、書きの技能を段階的に習得する。											
授業内容	第1段階として漢字の意味と読みを覚える。第2段階として日常の中でそれらの漢字がどのように使われているか、実際の場面を材料として理解する。実際の場面で入力や手書きが必要な場合は、その様式で求められる正確な記入も練習する。											
包括的到達目標	進学を希望する専門分野や社会的な諸問題など、抽象的かつ複雑な話題のテキストに含まれる漢字(計1000字程度)を読み、そのテキストから主要な内容を独力で正確に理解できる。また、自らの進路や興味のある分野について、漢字を適切に用いて論理的かつ詳細な文章を作成・入力できる。											
使用テキスト	漢字たまご 中級2											
技能												
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発	
1	不動産屋の物件情報を見て、部屋の詳しい情報を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ごみの捨て方の案内を読んで、捨て方や注意事項を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
2	薬のパッケージの表示や説明書の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	問診表を読んで、回答を記入することができる。(活)						<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			
3	健康診断の結果を見て、自分の健康状態を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ドラッグストアにある商品の種目表示や説明を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
4	ゲームの紹介文を読んで、どのようなゲームかを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	化粧品や医薬品の広告を見て、どのような商品かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
5	展示会や公演のお知らせを見て、内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	映画や小説など、物語の簡単な説明を読んで、どのような話かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
6	異文化コミュニケーションについて書かれた簡単な文を読んで、内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	異文化に関する投書やSNSのコメントの内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
7	ビジネスコミュニケーションの本の目次から、自分の知りたい表現を選ぶことができる。(活)						<input type="radio"/>					
	電車やバスの車内で見る表示や注意書きを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
8	ニュースの見出しや簡単な記事を読んで、どのような事故かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ニュースの見出しや簡単な記事を読んで、どのような事件かを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
9	政治や国際に関するニュース番組のテロップや記事の見出しを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	文書作成アプリの基本的な操作の説明を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
10	進学情報の検索サイトや説明会のお知らせを見て、どのような分野の学校があるかを理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	専門学校や大学などの募集要項の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
11	試験問題の指示文によく出る漢字を理解し、問題の指示を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	授業のカリキュラムやシラバスを見て、授業の形態や内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
12	就活ガイドや就活サイトの内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	就職セミナーの資料にある業界名や会社名を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
13	求人サイトで希望条件を指定して会社を検索することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	ビジネスメールの件名や本文の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
14	環境に配慮されている商品の説明を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
	環境やエネルギーに関するニュースの見出しや記事の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
15	絶滅危惧種の動物に関する記事を読み、原因・現状・対策などの概要を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	環境に関するイベントや活動の内容を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
16	科学に関する簡単なニュースやイベントの情報を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	科学に関する記事を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
17	水辺にすむ生物の説明や紹介の文を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
	話題の家電や機器などの紹介文を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
18	アンケート調査の結果(賛否や傾向など)を理解することができる。(活)						<input type="radio"/>					
	多文化共生に関する記事を読むことができる。(活)						<input type="radio"/>					
評価項目/割合		評価内容										
評価基準	1. 筆記試験	50 %	読み方、意味理解などの言語知識について数課ごとにテスト									
	2. パフォーマンス	40 %	実生活の中での漢字の運用について調査・発表、入力テスト									
	3. 自己評価	10 %	パフォーマンス後の自己評価シートの振り返りなど									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。												
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等												

科目名	言語知識 I A						学期	後 期				
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	1			
学習目的	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。											
授業内容	場面別の単語帳から幅広く語彙を学び、ポスター/メール/エッセイ/会話文/新聞記事/実用書/スピーチ/論文など様々なタイプの文章から、文型を学ぶ。											
包括的到達目標	留学生活や教室内で頻りに用いられる基本的な語彙・漢字およびN4レベルの文法形式を習得し、ポスター、メール、平易なエッセイなどの多様な形式のテキストにおいて、身近な話題に関する情報の要旨や具体的な指示を正確に理解できる。また、得た知識を応用して、自身の身の回りの状況について、つながりのある文を用いて適切に表現できる。											
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験 N4 文法から伸ばす日本語											
技能												
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発	
1	手作りの物などを謙遜しながらすすめることができる。(能) 手作りの物などについて説明することができる。(能)						○					
2	言葉などの意味を簡単に説明できる。(能) 習慣や規則について説明したり質問したりできる。習慣などについてアドバイスをすることができる。(能)						○					
3	出身地を話題にして紹介することができる。(能) 出身地の場所や人の様子、有名な物などを説明できる。(能)						○					
4	聞いてきた情報を話題にして話すことができる。旅行の誘いや提案に対して、心配な気持ちを表すことができる。条件などを説明して、相手の心配をやわらげることができる。(能) 旅行の計画を話題にして、必要な準備や希望などについて話せる。(能)						○					
5	友だちに対して、事情説明を求められることができる。友だちに対して、自分が困ったことについて事情を説明できる。(能) 友だちに事情を説明したり感想を言ったりできる。けがなどをした友だちを気遣い、アドバイスができる。(能)						○					
6	趣味や習い事を話題にして、注意されたことや上達したことについて話すことができる。(能) 趣味や習い事について、自分が考えている今後の希望や計画が言える。(能)						○					
7	電話で、係の人に自分の希望を伝えたり、質問したりして、予約することができる。(能) 電話で、係の人の説明を理解して対応することができる。(能)						○					
8	インタビューなどでていねいな質問を聞いて、理解することができる。インタビューなどで質問に対して受け答えができる。(能) 自分の感想や今後の予定を言うことができる。(能)						○					
9	アルバイトの面接を受けて、専攻や経験なども含め、ていねいに自己紹介ができる。(能) アルバイトの面接を受けて、条件や注意事項などを聞いて理解することができる。(能)						○					
	評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験	50 %	文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法などの言語知識の理解を確かめるテスト									
	2. パフォーマンス	40 %	文型を使った産出能力を測るテスト									
	3. 自己評価	10 %	自己評価シートの振り返りなど									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。												
課外授業実施予定・時												

科目名	言語知識ⅡA						学期	前期	
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法分野の問題を用いながら、言語運用能力の下支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。								
授業内容	場面別の単語帳から幅広く語彙を学び、ポスター/メール/エッセイ/会話文/新聞記事/実用書/スピーチ/論文など様々なタイプの文章から、文型を学ぶ。								
包括的到達目標	学校、仕事、娯楽などの身近な話題や自身の関心事について、N3レベルの語彙・漢字および文法形式を適切に活用し、情報の主要点と詳細を正確に理解できる。また、得た言語知識を下支えとして、事実関係、経験、将来の計画などについて、理由や説明を伴う論理的で脈絡のある文章や談話を構成し、自律的に運用できる。								
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	料理の作り方を説明することができる(能)	○	○			○
	旅行などの初めての経験について、体験したことや考えたこと、感じたことが表現できる。(能)	○				
2	料理の作り方を説明することができる(能)	○	○			○
	ペットや家族を簡単に紹介したり、自分との関係を説明したりすることができる。(能)	○				
3	病院で病気やけがの症状を伝えることができる(能)	○	○			○
	参加者募集のお知らせを見て、申し込み方法などの内容が理解できる。イベントなどについて、経験者の感想や活動内容から、様子がイメージできる。(能)	○				
4	病院で病気やけがの症状を伝えることができる(能)	○	○			○
	個人的なことについて、確認したり意見や感想を交えたりしながら、友だちとおしゃべりができる。(能)	○				
5	ほしい服のイメージ・素材・サイズなどを伝えることができる(能)	○	○			○
	レシピを読んで、どんな料理か理解できる。レシピを読んで、料理の手順や注意が理解できる。(能)	○				
6	ほしい服のイメージ・素材・サイズなどを伝えることができる(能)	○	○			○
	環境問題など、あるテーマについての発表で、問題提起と自分の意見が言える。環境など、あるテーマについて具体例から結論まで話し、全体としてまとまった発表ができる。(能)	○				
7	自分やほかの人の性格について言うことができる(能)	○	○			○
	店員が説明するていねいな表現を理解し、受け答えができる。友だちと、最近の変化について話したり、強くアドバイスをしたりすることができる。(能)	○				
8	自分やほかの人の性格について言うことができる(能)	○	○			○
	初対面の人に敬意を示す基本的な表現を使って、あいさつや受け答えができる。(能)	○				
9	自分やほかの人の性格について言うことができる(能)	○	○			○
	身近な話題について、個人的な考え方や感じ方を表現することができる。特にこだわりがあるものなどについて、自分の気持ちを表現することができる。(能)	○				
	評価項目/割合	評価内容				
評価基準	1. 筆記試験 50 %	文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法などの言語知識の理解を確かめるテスト				
	2. パフォーマンス 40 %	文型を使った産出能力を測るテスト				
	3. 自己評価 10 %	自己評価シートの振り返りなど				
	筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。					
課外授業実施予定・時						

科目名	言語知識ⅡB						学期	後 期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2			
学習目的	日本語能力試験で出題される文字・語彙・文法分野の問題を用いながら、言語運用能力の支えとなる言語知識を習得し、日本語の受容力の向上を図る。											
授業内容	場面別の単語帳から幅広く語彙を学び、ポスター/メール/エッセイ/会話文/新聞記事/実用書/スピーチ/論文など様々なタイプの文章から、文型を学ぶ。											
包括的到達目標	専門分野や社会的な諸問題に関する複雑な構造のテキスト(論説文、記事、論文等)において、N2レベルの語彙・文法知識を活用し、情報の論理構成や筆者の意図、細部までを正確に解読できる。様々な文脈において、状況にふさわしい表現や語句を使い分け、事実と意見を明確に区別した、説得力のある文章や談話を論理的に構成できる。											
使用テキスト	TRY! 日本語能力試験 N2 文法から伸ばす日本語											
技能												
週数	到達目標(活・テ・方・能)							読	聞	書	発	
1	どんな家に住みたいか説明し、物件広告を読んで内容を理解することができる(能) お知らせなどの文章が読める。求人条件が理解できる。(能)							○	○		○	
2	どんな家に住みたいか説明し、物件広告を読んで内容を理解することができる(能) 改まった形で思い出話などをして、お別れのスピーチができる。改まった形で今後の展開などを話し、お礼のあいさつが言える。(能)							○	○		○	
3	結婚相手の条件と、その理由を言うことができる(能) 仕事などの社会生活の場面での心構えを聞いて、理解できる。クレーム対応の仕方などについての説明を聞いて、理解できる。(能)							○	○		○	
4	結婚相手の条件と、その理由を言うことができる(能) 天気予報、台風情報などのニュースを聞いて理解できる。(能)							○	○		○	
5	日本の季節を豊かに表現し、季節の便りを書くことができる(能) 自分の困った状況が友達に説明できる。友達の話に共感して励ますことができる。(能)							○	○		○	
6	日本の季節を豊かに表現し、季節の便りを書くことができる(能) 自分の困った状況、気持ちを友達に説明できる。友達の状況に共感して励ますことができる。自分の状況や決意したことを友達に話せる。(能)							○	○		○	
7	日本の慣用語・ことわざの使い方を説明することができる(能) レポートや論説文の、これまでの経緯や状況の説明が理解できる。(能)							○	○		○	
8	日本の慣用語・ことわざの使い方を説明することができる(能) ビジネス場面で社外の人との簡単な受け答えができる。(能)							○	○		○	
9	日本や自分の国の世界遺産や名所を紹介することができる(能) 身近な話題について、友達と自然な表現を使って話せる。(能)							○	○		○	
評価項目/割合		評価内容										
評価基準	1. 筆記試験	50 %	文法形式の判断、文の組み立て、文章の文法などの言語知識の理解を確かめるテスト									
	2. パフォーマンス	40 %	文型を使った産出能力を測るテスト									
	3. 自己評価	10 %	自己評価シートの振り返りなど									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。												
課外												

科目名	プロジェクトワーク I A						学期	後 期			
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	自己表現、他者理解、異文化理解などのテーマにおいて、個人単位でもグループ単位でも自律的に企画に取り組み、地域社会のニーズを探りつつ、地域に貢献できる活動の実施を意識し、産出においてはより多くの人に伝わる発信方法を意識して、発信活動ができる。										
授業内容	1. 地域理解(パンフレット・地図・イベントの説明の読解) 2. インタビュー準備(質問作成・疑問詞の確認・敬語の練習) 3. インタビュー実施(地域の人・ボランティア先で) 4. 情報整理(メモ、録音の聞き返し、要点まとめ) 5. 発表(3～5分のミニプレゼン) 6. 振り返り(自己評価・ピア評価・次の行動計画)										
包括的到達目標	・身近な地域社会をテーマに、個人・グループで自律的に企画を立て、地域の人々への簡単なインタビューができる。・インタビューで得た情報を整理し、3～5分の口頭発表として他者に分かりやすく報告できる。 ・地域イベントや地域の人々との交流を通して、異文化理解・他者理解を深め、地域に貢献する活動に主体的に参加できる。・400字程度の簡潔な文章で地域調査の結果をまとめられる。										
使用テキスト											
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発
1	<言語知識 授業期間>										
2	<言語知識 授業期間>										
3	<言語知識 授業期間>										
4	<言語知識 授業期間>										
5	<言語知識 授業期間>										
6	<言語知識 授業期間>										
7	<言語知識 授業期間>										
8	<言語知識 授業期間>										
9	<言語知識 授業期間>										
10	・地域についての基本情報を読み、内容について整理できる(活) ・地域の地図を読み、目的地の確認ができる(テ)						○		○		
11	・インタビューの計画を立てることができる。 ・インタビューの基本(疑問詞、丁寧表現)を使って質問を作ることができる(活)								○	○	
12	・地域の方々にインタビューを行い必要な情報を獲得することができる(方)							○	○	○	
13	・インタビュー内容を聞き返し、必要な情報を整理できる(方) ・1～2分の簡単な体験共有(ミニプレゼン)ができる(活)						○		○	○	○
14	・子ども食堂(または地域ボランティア)についての案内資料を読み、活動内容を説明できる(活) ・ボランティアの指示を聞き取り、行動できる(活) ・子ども食堂(または地域ボランティア)スタッフ・利用者に簡単な質問ができる(活)						○	○		○	
15	・子ども食堂でのインタビュー内容を整理できる(活) ・活動を通して学んだことを具体的に述べられる(活) ・追加質問や質問の工夫(言い換え・聞き返し)ができる(方)							○	○	○	
16	・地域理解のためのパンフレットや地図を読み、餅つき大会の役割を理解できる(活) ・餅つき大会での簡単な交流(挨拶・質問)ができる(活) ・最終発表の構成(導入→調査内容→結果→感じたこと)を作れる(活)						○	○		○	
17	・最終発表(3～5分)を練習できる(活) ・聞き手の立場を意識して、話す順序や言葉を調整できる(活) ・400字の最終レポート(地域で学んだこと)を書くことができる(活)								○		○
18	・3～5分の最終発表を実施し、質問に答えることができる(活) ・インタビュー活動から見えた課題や次への課題を述べられる(活) ・自己評価・ピア評価を行い、次のステップの目標設定ができる(活)									○	○
	評価項目/割合						評価内容				
評価基準	1. 筆記試験	40 %	活動報告文、質問リスト、下書き・最終レポートの完成度・具体性・論理性								
	2. パフォーマンス	50 %	ミニ発表・最終発表・インタビューでの表現力、構成、質問対応、聞き手意識、協働力を総合評価								
	3. 自己評価	10 %	自己分析の深さ、改善点の明確化、次の行動計画の具体性								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施										

科目名	プロジェクトワークⅡA					学期	前期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	自己表現、他者理解、異文化理解などのテーマにおいて、個人単位でもグループ単位でも自律的に企画に取り組み、地域社会のニーズを探りつつ、地域に貢献できる活動の実施を意識し、産出においてはより多くの人に伝わる発信方法を意識して、発信活動ができる。										
授業内容	＜聞く＞インタビュー録音や説明を聞き、要点・意図を正確に把握できる。活動指示や協働指示を理解し、適切に行動できる。＜読む＞地域案内、資料、イベント説明文から必要情報を整理できる。活動計画や改善案の文書を読み、実行可能なタスクを理解できる。＜やりとり＞ 初対面の地域住民や関係者に、質問や追加質問を行い情報を深められる。グループメンバーと協働し、役割分担や意見調整を行える。＜発表＞ 調査・分析結果を5分程度で発表できる。発表後の質問や意見に理由付きで応答できる。＜書く＞ 活動報告や改善提案を500～600字程度の文章でまとめる。インタビュー・活動計画・振り返りの文書を作成し、ポートフォリオに整理できる。										
包括的到達目標	地域の人々や関係者へのインタビューを通して、課題やニーズを分析し、情報を整理できる。分析した情報をもとに、自分の意見や改善提案を論理的にまとめ、5分程度の口頭発表や500～600字の文章で報告できる。地域行事やボランティア活動を通して、協働・他者理解・異文化理解を深め、主体的に地域貢献活動に参加できる。2年間の地域プロジェクト活動をポートフォリオに整理し、自己成長を言語化できる。										
使用テキスト	なし										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発	
1	年間の活動目標を理解し、前期の個人目標を設定できる。(活)					○	○	○			
2	地域活動の役割について意見交換し、自分の考えを理由付きで述べられる。(活)					○	○		○	○	
	地域課題の例を挙げ、原因と影響を説明できる。(活)							○	○	○	
3	インタビュー計画を立て、質問を作成し、目的を明確にできる。(活)					○		○			
	地域連携地域探索の調査視点を設定できる。(活)							○			
4	地域探索でインタビューを実施し、情報を収集できる。(活)					○		○	○	○	
5	＜言語知識 授業期間＞										
6	＜言語知識 授業期間＞										
7	＜言語知識 授業期間＞										
8	＜言語知識 授業期間＞										
9	＜言語知識 授業期間＞										
10	＜言語知識 授業期間＞										
11	＜言語知識 授業期間＞										
12	＜言語知識 授業期間＞										
13	＜言語知識 授業期間＞										
14	地域探索インタビュー結果を振り返り、行動計画を立てられる。(活)					○	○	○			
15	ターゲットイベントについてキーマンにインタビューする内容を記述することができる。(活)							○			
	想定問答練習を行い、適切な表現で質問できる。(活)					○	○		○		
16	最終確認・準備ができる。(活)						○	○	○		
17	役割を果たしながら参与観察を行い、記録を取れる。(活)					○		○			
18	活動成果と課題を整理し、原因と改善案を説明できる。(活)							○		○	
	活動報告・改善提案を5分で発表し、質問に答えられる。(活)								○	○	
評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験 20 %	活動報告文、質問リスト、下書き・最終レポートの完成度・具体性・論理性									
	2. パフォーマンス評 70 %	① 参与・態度15% 地域活動への主体的参加、役割遂行 ② インタビュー・対話力10% 質問の明確さ、追加質問、相互理解 ③ 分析力20% 課題の原因・影響・根拠の明確さ ④ 発表力15% 構成、論理性、5分発表、質疑応答									
	3. 自己評価 10 %	活動報告文(500字) 改善提案文 発表原稿									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レリア、ゲスト等	地域探検、金胎寺、旧北陸道商店街等										

科目名	プロジェクトワークⅡB					学期	後 期				
担当教員	常勤・非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1		
学習目的	自己表現、他者理解、異文化理解などのテーマにおいて、個人単位でもグループ単位でも自律的に企画に取り組み、地域社会のニーズを探りつつ、地域に貢献できる活動の実施を意識し、産出においてはより多くの人に伝わる発信方法を意識して、発信活動ができる。										
授業内容	① 地域調査・参与観察 行事の目的・背景・運営体制の分析 参与観察による課題発見 インタビューによる情報収集 地域住民との協働活動 ② 課題分析・提案作成 原因分析(社会的・文化的視点) 課題の優先順位付け 実現可能な改善策の設計 効果予測と根拠提示 ③ 発信・報告 発表構成(問題→分析→提案→効果) 質疑応答練習 卒業成果発表資料作成 成果発表										
包括的到達目標	地域課題を多角的に分析し、根拠を示して論理的に説明できる。地域行事に主体的に参加し、具体的な貢献活動を実行できる。実現可能な改善提案を提示し、その効果を予測できる。600～800字の論理的文章を書き、5分以上の発表と質疑応答ができる。										
使用テキスト	なし										
技能											
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発	
1	地域連携社会見学 地域施設・団体の目的と課題を理解し、観察記録と質問を実施できる。(活)					○	○		○	○	
2	課題分析深化 社会見学で見えた課題の原因と影響を分析できる。(活)					○		○			
3	アートイン小杉イベント 文化的意義を理解し、参与観察と運営補助を通して地域貢献ができる。(活)					○		○	○		
4	国際バザー出品回収活動 地域住民と連携し、出品物回収・説明活動を主体的に実行できる。(活)							○	○		
5	<言語知識 授業期間>										
6	<言語知識 授業期間>										
7	<言語知識 授業期間>										
8	<言語知識 授業期間>										
9	<言語知識 授業期間>										
10	<言語知識 授業期間>										
11	<言語知識 授業期間>										
12	<言語知識 授業期間>										
13	<言語知識 授業期間>										
14	こども食堂支援活動 活動補助を行いながら参与観察し、福祉的課題を説明できる。(活)						○		○	○	
15	最終分析統合 全活動を統合し、提案内容を具体化できる。(活)							○			
16	最終提案文完成 600～800字の論理的提案文を完成できる。(活)							○			
17	発表練習・質疑応答 5分以上の発表練習を行い、根拠を示して応答できる。(活)								○	○	
18	卒業成果発表会 地域連携活動の成果を発表し、質問に論理的に回答できる。(活・方)								○	○	
評価項目/割合		評価内容									
評価基準	1. 筆記試験 20 %	最終提案書(600～800字) 発表原稿 調査記録整理									
	2. パフォーマンス評 70 %	① 課題設定力13% 母一マの明確さ・妥当性 ② 分析力10% 原因・影響・根拠の提示 ③ 提案力13% 実現可能性・具体性 ④ 発表力4% 構成・論理性・質疑応答									
	3. 自己評価 10 %	成長分析2年間の変化を具体例で説明 課題認識の目標設定が明確									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。											
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	地域探検、旧北陸道商店街等										

科目名	日本の社会と文化 I A						学期	後 期				
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2			
学習目的	日本社会における基本的な生活習慣や規則を学び、文化の違いに気づきながら、社会の一員として適切に行動する基礎を養う。											
授業内容	自分が生活する学校や地域社会、アルバイト先などルールや常識 自国文化との対照 留学生として日本に生活知の上で知っておかなければならない事、手続きなどに必要な日本語知識											
包括的到達目標	日本社会における基本的な習慣や規則について理解し、日本文化と自文化との違いに気づきながら平易な日本語で記述し、発表ができる。 社会の一員として配慮ある行動をとることができる。											
使用テキスト	※参考資料として「動画で学ぶ はじめての日本の生活」ウイネット											
技能												
週数	到達目標(活・テ・方・能)						読	聞	書	や	発	
1	学校生活に関する基本的な規則を理解し、守って行動できる。(活)						○	○				
2	アパートでの生活に関する基本的な規則やマナーを理解し、守って行動できる。(活)						○	○				
3	キャンパスツアーの説明を聞いて、タスクシートに自分のことばで書き込むことができる。(活)							○	○			
	キャンパスツアーをしながらタスクシートに記入することができる(活)								○			
4	日常の場面にあった基本的なあいさつができる(活)									○	○	
5	地域のごみ分別表示を理解できる。(テ)						○	○				
	実際の掲示を見て確認・判断できる(方)						○	○		○		
6	自転車の乗り方やマナー・ルールを理解することができる(活)						○	○				
	実際のケースでどうするのが正しいか判断できる(方)									○		
7	病気やけがをしたときの対処方法について基本的なケースについて理解し、対応できる(活)						○	○		○		
	体の場所や基本的な症状のことばについて有効な表現で伝えられる(能)									○		
8	市役所での手続きの書類に必要な記載ができる(活)								○	○		
	市役所でやりとりしながら基本的な手続きができる(方)									○		
9	日本での資格外活動(アルバイト)についてルールとマナーについて理解できる(活)						○	○				
10	日本と自国のマナーについて「違うところ」を簡単な日本語で400字書くことができる(活)								○			
11	日本と自国のマナーについて「違うところ」を簡単な日本語で1分間発表することができる(活)										○	
12	交通事故の対応について対処するための情報を理解し、記述できる(活)						○	○	○			
	交通事故に基本的な対応ができる(方)									○		
14	自然災害の対応について対処するための情報を理解し、発表できる(活)						○	○			○	
15	自然災害について自国のケースと比べて発表することができる。(活)								○		○	
16	日本の教育制度について理解し、整理して記述できる(活)						○	○	○			
17	自国の日本の教育制度の「違う事」を日本語で400字書くことができる。								○			
	自国と日本の社会や文化の違いを1分間発表することができる。										○	
18	自国と日本の社会や文化の違いを整理し3分間発表をすることができる。										○	
評価項目/割合		評価内容										
評価基準	1. 筆記試験	40 %	身近な社会のルールや知識に関わる小テスト									
	2. パフォーマンス	50 %	自国と日本の違いについての作文と発表 場面ごとのあいさつ、様々なケースへの対応タスク									
	3. 自己評価	10 %	9週目、18週名の「キャリアマネジメント I A」での自己評価の結果を反映									
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。												
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施											

科目名	キャリアマネジメント I A						学期	後 期	
担当教員	川上あいか	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	自由選択	単位数	2
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。								
授業内容	自己評価を行う・課題を特定する・目標を設定する・週間学習計画を立てる・学習記録を書く・計画を振り返り修正する・自分の日本語力を説明する・成果を発表する すべてをポートフォリオに保存する。								
包括的到達目標	ポートフォリオを活用して自身の学習と経験を整理し、強みや課題を具体例とともに説明できるとともに、進学に向けた目標を理由を添えて表現できるようにする。								
使用テキスト	なし								

技能

週数	到達目標(活・テ・方・能)	読	聞	書	や	発
1	自分の学習歴と目標を説明し、自己紹介シートをポートフォリオに保存する。	○	○			
2	日本語能力自己評価を行い、課題を3つ書いて保存する。	○				
3	成功体験を200字程度で書き、保存する。	○		○		
4	自分の強みを理由と例を添えて書き、保存する。	○	○	○		
5	興味のある分野を2つ挙げ、理由を書いて保存する。	○				
6	授業見学・説明会参加後、感想と気づきを300字で書き保存する。	○		○		
7	進学目的を理由付きで説明し、まとめを保存する。	○		○		
8	短期目標と行動計画を作成し保存する。	○		○		
9	中間振り返りを書き、改善点を明確にして保存する。	○	○	○		
10	志望理由の基礎文(300～400字)を書き保存する。			○		
11	具体例を加えて修正し、初稿とともに保存する。			○		
12	フィードバックを反映させた修正版を保存する。			○		
13	進路について3分間スピーチを行い、原稿と振り返りを保存する。			○		
14	模擬面談を行い、質問と回答記録を保存する。	○	○			
15	自分の成長を具体例でまとめ保存する。			○		
16	将来計画を段階的に書き保存する。			○		○
17	ポートフォリオを整理し、成長比較表を作成・保存する。			○	○	○
18				○	○	○
	評価項目/割合	評価内容				
評価基準	1. 筆記試験 20 %	自己評価、成功体験、強み分析、志望理由書、学習計画、振り返りなどの完成度・具体性・論理性を評価				
	2. パフォーマンス評 70 %	模擬面談、3分間スピーチでの表現力、説明力、根拠提示能力を評価				
	3. 自己評価 10 %	自己分析の深さ、改善点の明確化、学習意欲・行動の自律性を評価				
筆記試験は文字読解・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。						
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等						

科目名	キャリアマネジメントⅡA					学期	前期			
担当教員	折田真一	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。									
授業内容	将来目標を明確にする・進学先・分野の情報を調べ整理する・志望理由の構成を学ぶ・志望理由書を作成・推敲する・自己PRを作成する・学習計画を再設計する・模擬発表を行う・フィードバックを受けて修正する ポートフォリオを整理する。									
包括的到達目標	進学・就職を含む多様な進路選択肢について理解を深め、体験活動を通して得た情報を根拠に、自身の目標・強み・日本語能力を関連づけて説明できる。									
使用テキスト	なし									
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	・将来やりたいことを複数挙げて説明できる。(活) ※保存: 将来目標リスト					○		○		○
2	・複数の進路選択肢を整理できる。(活) ※保存: 進路比較表					○		○		
3	・各分野の特徴を調査しまとめられる。(活) ※保存: 分野調査シート					○		○		
4	・体験活動の観点を準備できる。(活) ※保存: 質問・観点リスト					○		○		
5	・体験内容を記録できる。(活) ※保存: 授業参加・説明会記録①					○		○		
6	・体験内容を目標と関連づけられる。(活) ※保存: 体験振り返り①					○		○		
7	・複数分野を比較できる。(活) ※保存: 比較整理表					○		○		
8	・自分に合う分野を理由とともに説明できる。(活) ※保存: 志望分野決定理由					○		○		
9	・志望理由の構成を理解できる。(活) ※保存: 構成メモ					○		○		
10	・体験を根拠に志望理由を書き始められる。(活) ※保存: 志望理由第1稿							○		
11	・具体例を加えて推敲できる。(活) ※保存: 第2稿(修正履歴付き)							○		
12	・志望理由を完成できる。(活) ※保存: 完成稿							○		
13	・志望理由を口頭で説明できる。(活) ※保存: 発表原稿							○	○	
14	・質問に複数文で答えられる。(活) ※保存: 想定質問回答								○	
15	・自己PRを具体例とともに書ける。(活) ※保存: 自己PR草稿							○		
16	・現在の日本語力と課題を説明できる。(活) ※保存: 自己分析シート							○		○
17	・進路実現に向けた学習計画を立てられる。(活) ※保存: 中長期学習計画							○		○
18	・将来目標・根拠・学習計画を一貫して説明できる。(活) ※保存: 最終発表原稿+総括振り返り							○	○	○
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 筆記試験 20 %	① 志望理由書(完成稿)15% ② 自己PR最終稿 5%								
	2. パフォーマンス評 70 %	A. 発表・質疑応答(30%) ① 志望理由発表(15%) ② 模擬質疑応答(15%) B. ポートフォリオ運用(40%) ① 提出の継続性(10%) ② 体験記録の具体性(10%) ③ 推敲・修正履歴(10%) ④ 計画→振り返り→改善の循環(10%)								
	3. 自己評価 10 %	① 自己分析シート(5%) ② 期末総括振り返り(5%)								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等	・キャンパスツアーの実施									

科目名	キャリアマネジメントⅡB					学期	後 期			
担当教員	折田真一	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	ポートフォリオの作成と自己評価を通して、自身の学習状況を把握・管理し、自律的に学習を進める力を養うとともに、進学に向けた目標設定と行動計画を立てられるようにする。									
授業内容	進路目標を再確認・具体化 ・必要能力を分析 ・志望理由書を高度化 ・自己PRを再構築 ・面接想定質問に対応 ・模擬面接を実施 ・長期学習計画を再設計 ・4期分のポートフォリオを整理・統合 最終発表を行う。									
包括的到達目標	進路目標と自己の経験・強み・日本語能力を根拠をもって関連づけ、志望理由・自己PR・面接応答を論理的かつ一貫して表現できる。また、4期分の学習成果を整理し、自身の成長を客観的に説明できる。									
使用テキスト	なし									
技能										
週数	到達目標(活・テ・方・能)					読	聞	書	や	発
1	・自分の進路目標を具体的に再定義できる。(活) ※保存:進路目標再設定シート							○		
2	・進路に必要な能力を整理できる。(活) ※保存:必要能力分析表							○		
3	・現在の日本語力とのギャップを説明できる。(活) ※保存:自己到達度分析							○		○
4	・これまでの体験を整理できる。(活) ※保存:経験整理一覧							○		
5	・志望理由の論理構成を再設計できる。(活) ※保存:構成再設計メモ							○		
6	・志望理由を具体例を用いて書き直せる。(活) ※保存:志望理由改訂第1稿							○		
7	・根拠を明確にして改善できる。(活) ※保存:改訂第2稿(修正履歴付き)							○		
8	・一貫性を意識して完成稿に近づけられる。(活) ※保存:志望理由第3稿							○		
9	・自己PRを論理的に再構成できる。(活) ※保存:自己PR改訂稿							○		
10	・想定質問への回答を論理的に準備できる。(活) ※保存:想定質問回答集							○		
11	・模擬面接で根拠を示して答えられる。(活) ※保存:面接振り返り①							○	○	
12	・フィードバックを反映し改善できる。(活) ※保存:面接改善メモ							○	○	
13	・長期的な学習・キャリア計画を立てられる。(活) ※保存:中長期キャリア計画書							○		
14	・4期分の成長を整理できる。(活) ※保存:成長比較一覧							○		
15	・成長の根拠を具体例で説明できる。(活) ※保存:成長エビデンス整理							○	○	
16	・ポートフォリオを体系的に再構成できる。(活) ※保存:最終ポートフォリオ構成案							○		
17	・将来計画を論理的に発表できる。(活) ※保存:最終発表原稿							○		○
18	・進路目標・成長・計画を一貫して説明できる。(活) ※保存:最終総括レポート							○	○	○
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 筆記試験 20 %	① 志望理由書(最終完成稿)15% 中間キャリア計画書 5%								
	2. パフォーマンス計 70 %	A. 発表・面接(35%) ① 最終プレゼンテーション(20%) ② 模擬面接(15%) B. ポートフォリオ完成度(35%) ① 継続性・整理(10%) ② 推敲・改善履歴(10%) ③ 成長エビデンスの提示(10%) ④ 学習循環の確立(5%)								
	3. 自己評価 10 %	① 最終自己分析レポート 5% ② 4期総括振り返り書 5%								
筆記試験は文字語彙・文法・読解・聴解等を測り、パフォーマンス評価は作文・発表・やりとり等をルーブリックで測る。										
課外授業実施予定・時事ニュース、レアリア、ゲスト等										